

臼杵市

公共施設等総合管理計画

【2016(平成 28)年度～2035(令和 17)年度】



※昭和 40 年(1965 年)ごろの臼杵庁舎(旧臼杵市役所)

2016(平成 28)年3月
【2026(令和8)年3月改訂】



はじめに	1
1. 本市の現況	2～20
(1)市の概要	2
(2)人口の推移	4
(3)財政状況	6
(4)公共施設等の状況	14
2. 本市の将来の見通し	21～28
(1)将来人口	21
(2)公共施設等に係る経費見込み	22
(3)中期財政計画の状況	27
3. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針	29～43
(1)公共施設等総合管理計画の対象施設	29
(2)計画期間	30
(3)全庁的な取組体制の構築及び情報管理・共有方策	32
(4)現状や課題に関する基本認識	33
(5)公共施設等の管理に関する基本的な考え方	35
(6)計画期間における床面積等に関する目標	42
(7)フォローアップの実施方針	43
4. 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針	44～67
(1)市民文化系施設	45
(2)社会教育系施設	47
(3)スポーツ・レクリエーション系施設	48
(4)産業系施設	50
(5)学校教育系施設	51
(6)子育て支援施設	54
(7)保健・福祉施設	55
(8)行政系施設	56
(9)公営住宅	59
(10)公園	61
(11)供給処理施設	62
(12)その他の施設	63
(13)上水道施	64
(14)下水道施設	65
(15)道路及び橋りょう	66
(16)漁港	67
巻末資料	68～74

はじめに

2005(平成17)年に旧臼杵市と旧野津町が一つとなり、新たな臼杵市が誕生してから、節目となる20年を迎えました。この20年の歩みは、まさに変化と挑戦の連続でありました。東日本大震災をはじめとする自然災害、気候変動による豪雨災害、さらには新型コロナウイルスの世界的流行など、幾多の困難に直面してきました。

一方で、デジタル技術の進展や社会構造の変化は、私たちの暮らしや価値観そのものを大きく変えつつあります。

こうした時代の大きな転換点にあって、本市においても人口減少・少子高齢化という構造的課題が現実のものとなっています。現在、市内には市役所や学校、公民館など多くの公共施設がありますが、その多くが更新や大規模改修の時期を迎えており、建築後30年以上を経過した施設が約7割を占めています。

今後、財政制約が一層厳しくなる中で、これらをどのように維持し、次の世代へ引き継いでいくのかは、避けて通れない重要な課題です。

だからこそ今、私たちは立ち止まるのではなく、「リ・スタートうすき」の想いのもと、未来に向けた一步を踏み出さなければなりません。公共施設のあり方についても、従来の延長線上ではなく、市民の皆様との対話を重ねながら、地域の实情に即した最適な姿をともに描いていく必要があります。

本計画の改訂にあたっては、計画的な維持保全を基本としつつ、時代の変化を柔軟に受け止め、「不易流行」の考え方のもと、守るべき価値はしっかりと守りながらも、新しい発想や手法を積極的に取り入れていくこととしました。限られた財源の中でも、本当に必要とされる施設への重点投資と、効率的・効果的な運営を進めることで、次世代に過度な負担を残さない持続可能な仕組みを構築してまいります。

本計画の着実な推進を通じて、「臼杵に住んでよかった」「これからも住み続けたい」と思っただけのまちの実現に向け、全力で取り組んでまいります。市民の皆様とともに、次の時代に誇れる臼杵を創り上げていく、その決意をここに申し上げます。



臼杵市長 西岡 隆

1. 本市の現況

(1) 市の概要

① 地 勢

臼杵市は、大分県の東南部に位置する総面積 291.20 km²の地域です。東は豊後水道に面した臼杵湾に臨み、北西部は大分市・豊後大野市に接し、南西部は鎮南山・姫岳・冠岳・石峠山など比較的険しい山稜が津久見市・佐伯市と境を接しています。

地域の幹線道路である国道 502 号線が臼杵市街から豊後大野市へ横断し、国道 10 号線が野津地域を南北に縦断しています。東九州自動車道が臼杵市の中間位置を通り、臼杵インターチェンジにより福岡、大分や宮崎へのアクセスは良好で、九州と四国をフェリーで結ぶ臼杵港は、2025(令和 7)年 3 月に新フェリーターミナルが竣工し、九州の東の玄関口として役割を果たしています。

河川は、野津川が南西部を東西に流れ、臼杵川・末広川・熊崎川が臼杵湾に注ぎ、各河川沿いには水田がひろげ、畑地は野津地域の北側を中心に広がっています。気象は、瀬戸内海型と南海型が混在し、年平均気温 15～17℃、年間平均降水量 1,500～1,800 mm で、温暖多雨、自然条件にも恵まれていますが、過去 400 年間に 3 度の大きな地震と津波に見舞われています。

図表 1 臼杵市地図



(出所)第3次臼杵市総合計画

1. 本市の現況

② 歴史と地域性

臼杵の歴史は古く、縄文、弥生時代の史跡が市内随所に確認されています。古代末期(平安時代)から中世にかけて、仏教文化が花開き、深田の国宝特別史跡臼杵磨崖仏や田野の水地九重塔や東光寺の虹潤橋をはじめとする重厚な石橋など、国や県、市指定の石造文化財も数多く存在しています。中世の終わり、キリシタン大名大友宗麟が、丹生島に城(臼杵城)を築き、キリスト教を通して西洋文化がもたらされ、異国情緒漂う城下町として「臼杵」の歴史が始まりました。また、磨崖クルスや下藤地区キリシタン墓地をはじめとするキリシタン遺跡なども数多く残されています。

近世(江戸時代)、稲葉氏が臼杵城主となったころから臼杵城周辺には武家屋敷や商家の町並みが形成され、城下町としてのたたずまいが今日まで残されており、臼杵藩の村瀬庄兵衛による財政再建や質素倹約の政策は、「黄飯」や「きらすまめし」などの郷土料理を生み、臼杵の気風の礎となっています。

堅実な江戸時代の藩風は、二孝女にみられる親孝行や質実な臼杵人気質を醸成して今日まで受け継がれ、多くの政治家や経済人、文化勲章受章者をはじめとする優れた文化人・芸術家を輩出し、文化施設のない時代に図書館の寄贈を受け、教育の土壌がつけられました。民話では頓知やユーモアに富んだ「吉四六(きつちよむ)話」なども生み出されました。

明治の初めに1町193村であった臼杵は、数度の変遷の後、1889(明治22)年の市制・町村制施行により旧臼杵市の原形となる臼杵町と10村及び旧野津町の原形となる5村が統合されました。また、臼杵町が1950(昭和25)年に海辺村と合併して市制施行し臼杵市となり、その後1954(昭和29)年に佐志生村・下ノ江村・下北津留村・上北津留村・南津留村5村と合併しました。

また、1949(昭和24)年には野津市村が町制を施行し野津町となり、1951(昭和26)年に田野村、1955(昭和30)年に川登村、南野津村と合併し、1957(昭和32)年に戸上村14集落を編入合併しました。1950(昭和25)年市制施行の臼杵市と1949(昭和24)年町制施行の野津町が、2005(平成17)年1月1日に新臼杵市として新設合併し、現在に至っています。



1. 本市の現況

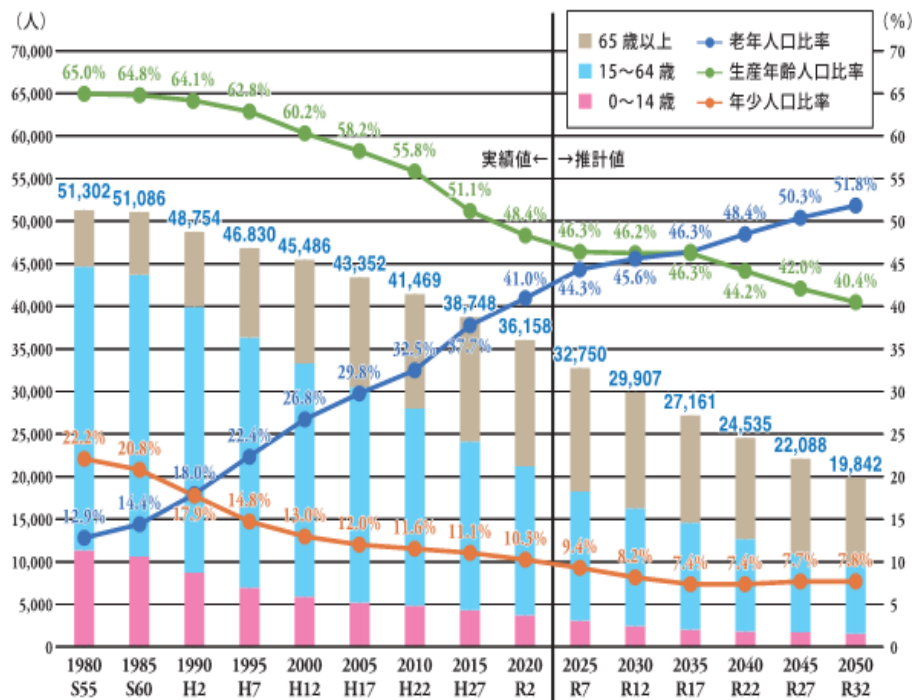
(2)人口の推移

① 人口総数

国勢調査の結果から、1980(昭和 55)年から 2020(令和 2)年までの人口の推移を見ると、1980(昭和 55)年に 51,302 人であった総人口は、2020(令和2)年には 36,158 人と 15,144 人減少しています。2025(令和 7)年以降の将来推計も総人口は減少する見通しとなっており、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、2040(令和 22)年には 24,535 人と推計されています

また、年齢 3 区分(年少人口・生産年齢人口・老年人口)を見ても、少子高齢化が進展し、生産年齢人口が大幅に減少する見通しとなっています。

図表 2 人口及び高齢化率等の推移

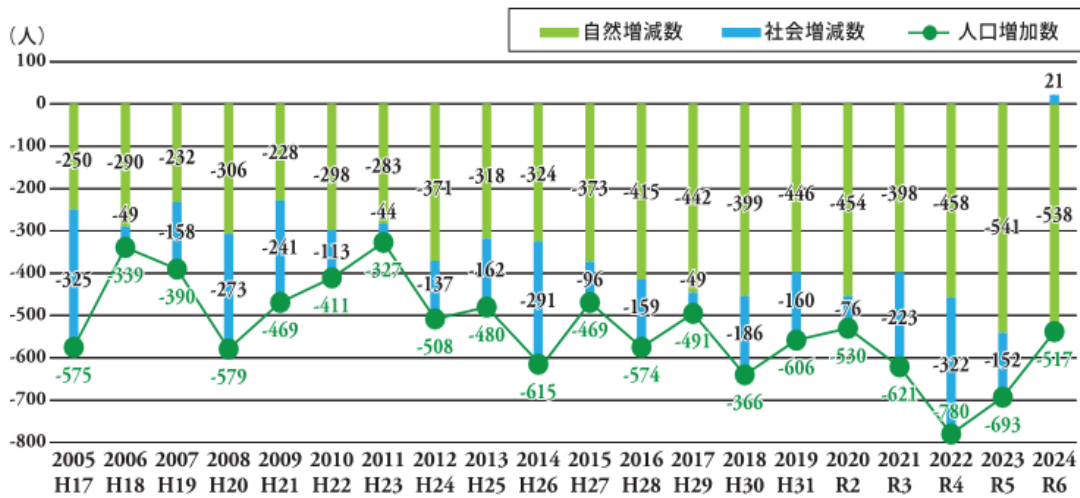


(出所)第3次白杵市総合計画

1. 本市の現況

なお、人口は一貫して減少しているものの、その中身は自然増減及び社会増減に分けられます。自然増減は、減少に歯止めがかからず減少幅が拡大傾向にあります。社会増減は、増減数に波があり、自然増減とは異なる動きとなっています。

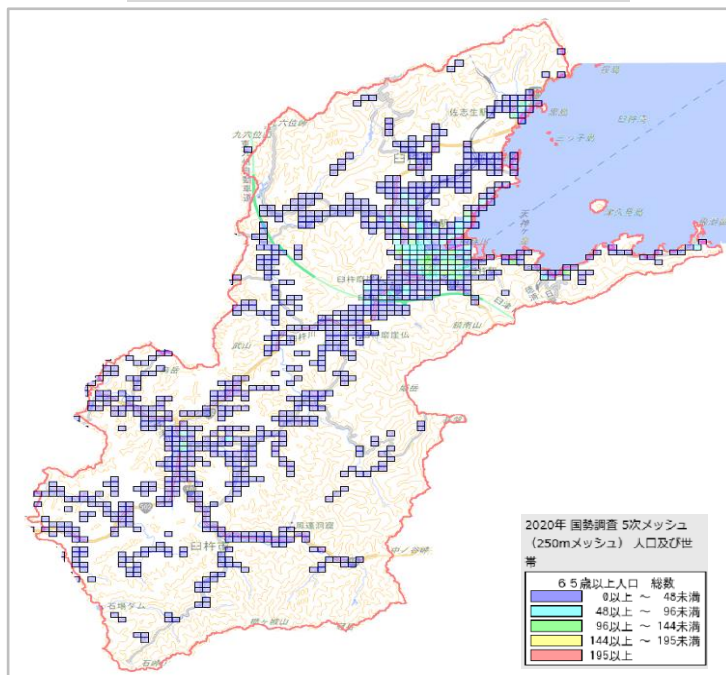
図表3 人口の増減



※各年1/1データであり、実際の人口移動期間は直前の1/1～12/31の1年間の移動数を示しています。

(出所)第3次臼杵市総合計画

図表4 高齢者人口(65才以上)の分布図



(出所)2020(令和2)年国勢調査より作成

1. 本市の現況

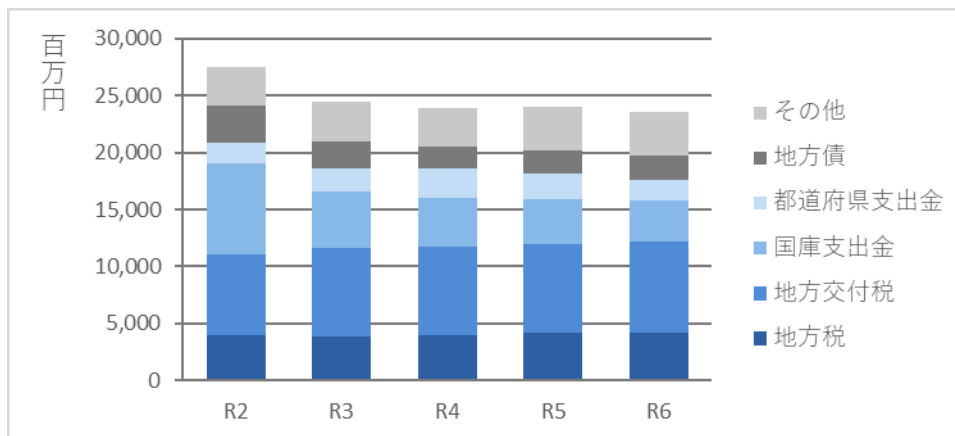
(3) 財政状況

① 歳入歳出決算

(ア) 歳入の推移

近年の本市の歳入総額は、令和2年度を除き240億円前後で推移しており、2024(令和6)年度の歳入総額は、約235億円です。主な内訳は、地方税約42億円(18.0%)、地方交付税約80億円(34.0%)、国庫支出金約36億円(15.2%)、都道府県支出金約18億円(7.7%)、地方債約21億円(8.7%)です。

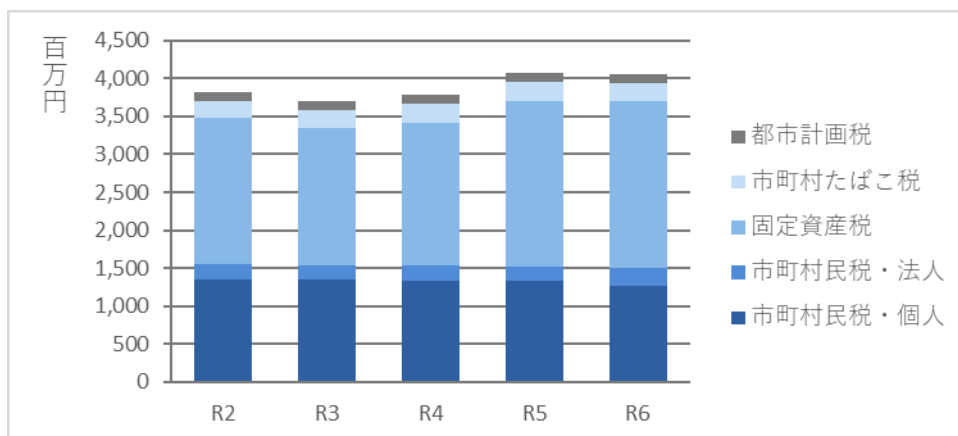
図表5 歳入の推移



(出所)市町村別決算状況調

地方税の内訳を見ると、2020(令和2)年度に比べ市町村民税が減少していますが、固定資産税は増加しており、全体では横ばいとなっています。

図表6 地方税の推移



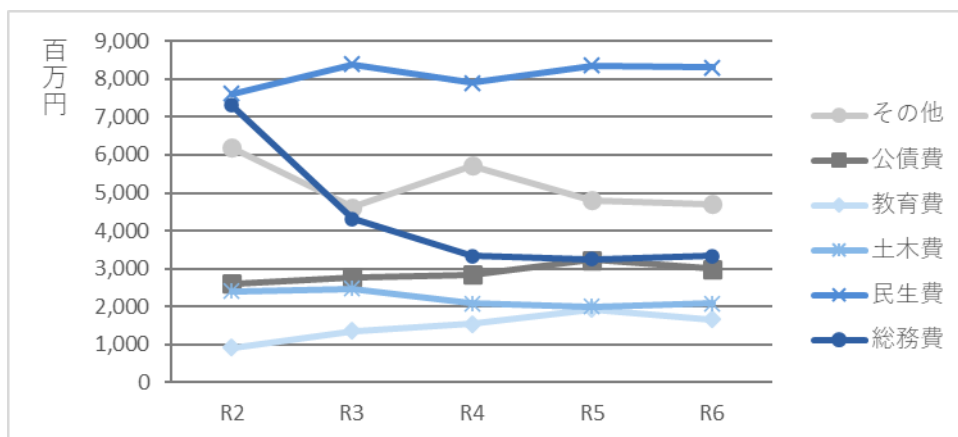
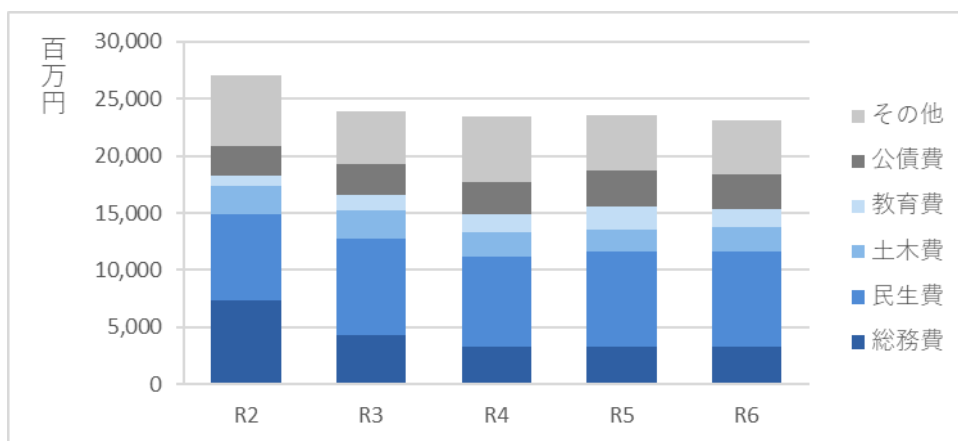
(出所)市町村別決算状況調

1. 本市の現況

(イ) 目的別歳出の推移

近年の歳出総額は、230 億円を超えており、2024(令和6)年度の歳出総額は、約 231 億円です。目的別歳出の主な内訳は、総務費約 33 億円(14.4%)、民生費約 83 億円(36.0%)、土木費約 21 億円(9.0%)、教育費約 17 億円(7.2%)、公債費約 30 億円(13.0%)です。最も大きな割合を占める民生費が増加傾向にある一方で、総務費、土木費が減少傾向にあります。

図表 7 目的別歳出の推移



(出所)市町村別決算状況調

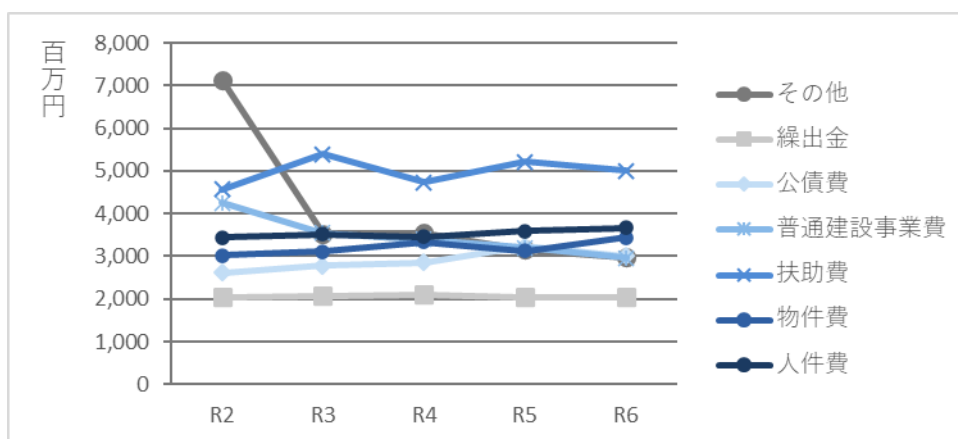
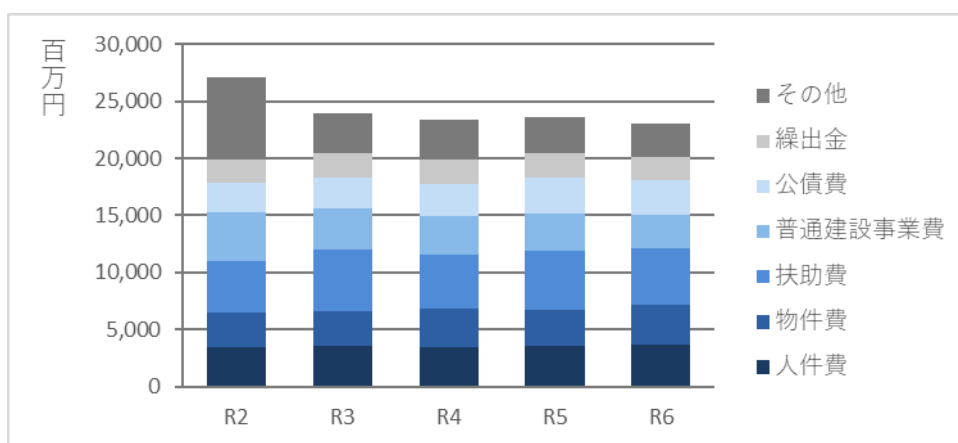
1. 本市の現況

(ウ)性質別歳出の推移

令和6年度の性質別歳出の主な内訳は、人件費約 37 億円(15.9%)、物件費約 34 億円(14.9%)、扶助費約 50億円(21.7%)、普通建設事業費約30 億円(12.8%)、公債費約30億円(13.0%)、繰出金約 20 億円(8.8%)です。

扶助費が増加傾向であり、大きな割合を占めています。人件費、扶助費、公債費を合わせた義務的経費は約 117 億円となり、義務的経費比率は 50.6%となっています。

図表 8 性質別歳出の推移



(出所)市町村別決算状況調

1. 本市の現況

② バランスシート(貸借対照表)

(ア) バランスシートの状況

本市の2024(令和6)年度のバランスシートのうち、資産の部は、公共資産約 786 億円(87.6%)、投資等約 66 億円(7.4%)、流動資産約 45 億円(5.0%)となっており、資産総額は約 897 億円です。公共資産の内訳は、有形固定資産が約 784 億円、無形固定資産は 2 億円です。他方、資産形成の財源は、負債約 285 億円(31.8%)、純資産約 612 億円(68.2%)です。

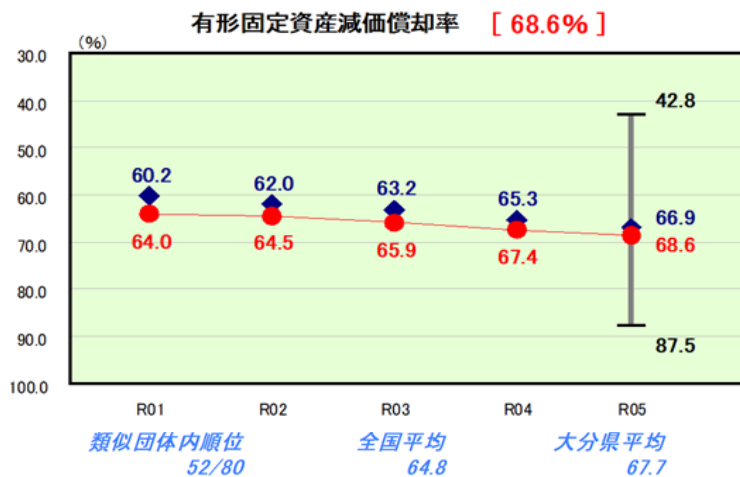
図表 9 バランスシートの状況

公共資産 約786億円 (87.6%)	負債 約285億円 (31.8%)
投資等 約66億円 (7.4%)	純資産 約612億円 (68.2%)
流動資産 約45億円 (5.0%)	

(出所)白杵市普通会計財務書類

減価償却の進行度合いを示す有形固定資産減価償却率は以下のとおりであり、道路工作物・市有施設等、過去に取得した固定資産の減価償却累計額の上昇により、前年度比 1.2 ポイント増加の 68.6%であり、施設の老朽化が進んでいます。

図表 10 有形固定資産減価償却率の状況



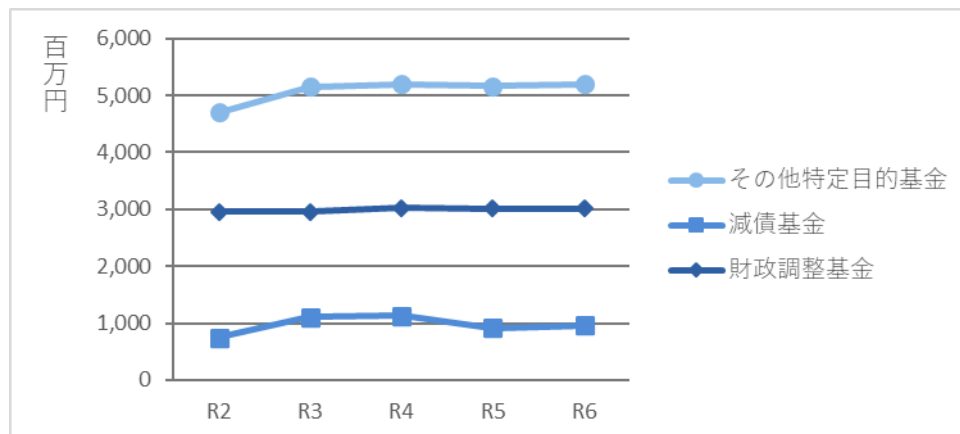
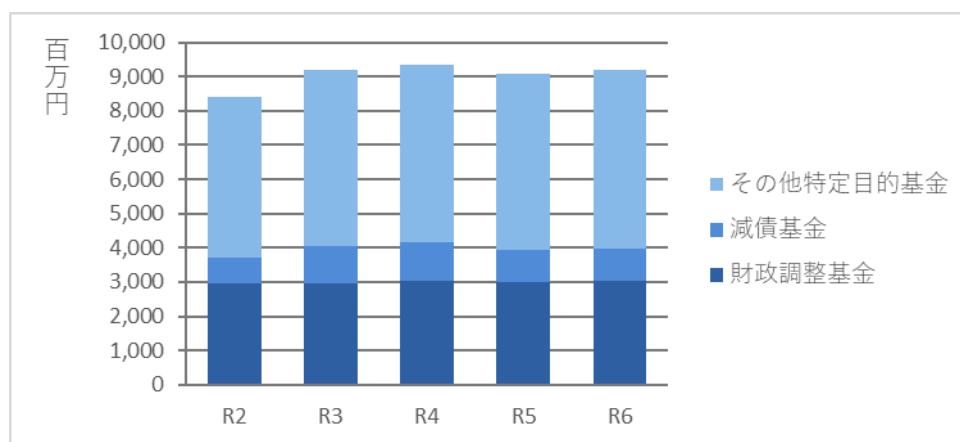
(出所)2023(令和5)年度財政状況資料集

1. 本市の現況

(イ)積立金残高の状況

財政調整基金、減債基金、その他特定目的基金を合わせた積立金残高は 2024(令和6)年において合計約 91 億円、内訳は財政調整基金約 30 億円、減債基金 9 億円、その他特定目的基金約 52 億円です。

図表 11 積立金残高の推移



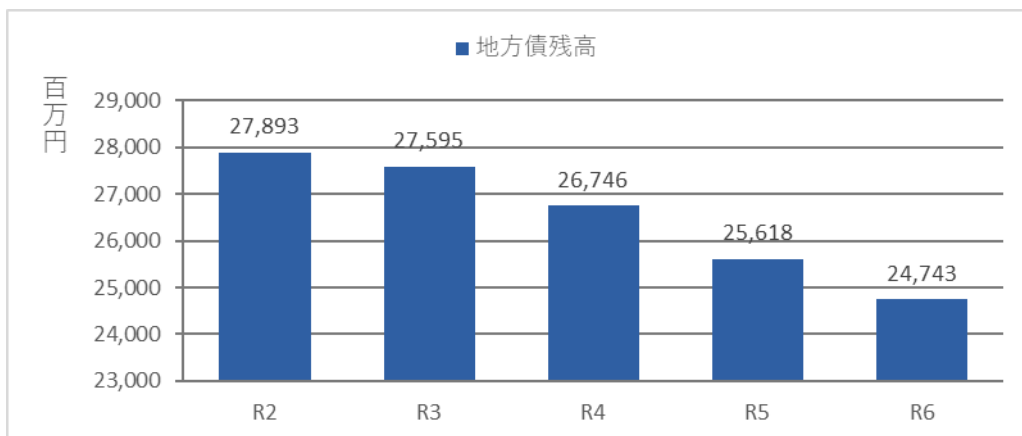
(出所)市町村別決算状況調

1. 本市の現況

(ウ)地方債残高の状況

地方債残高は2020(令和2)年度末残高で約279億円でしたが、2024(令和6)年度末残高で247億円となり減少しています。

図表12 地方債残高の推移



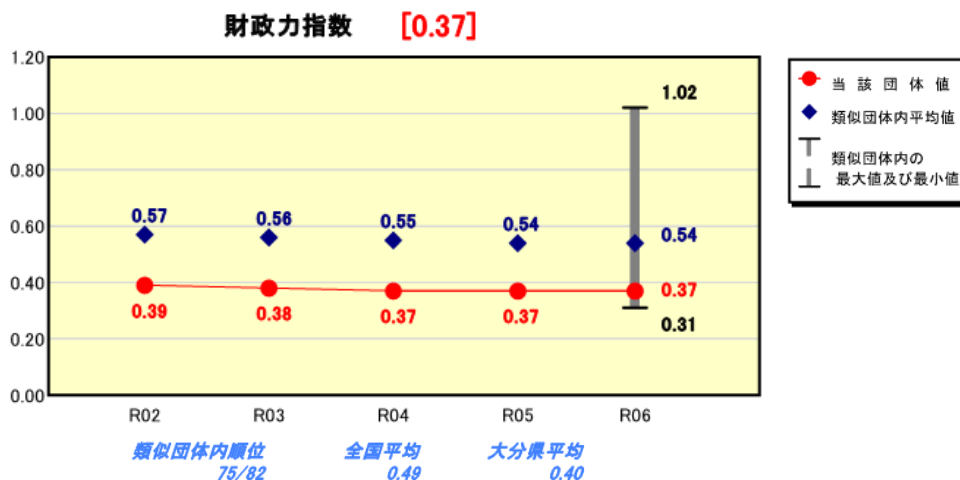
(出所)市町村別決算状況調

③ 財政指標

(ア)財政力指数

地方公共団体の財政力を示す財政力指数は2024(令和6)年度において、前年度と同数となる0.37となっています。今後も生産年齢人口の大幅な増加や、自主財源である個人・法人市民税等の大幅な増加は見込めないことから類似団体平均を下回って推移すると見込まれています。

図表13 財政力指数の状況



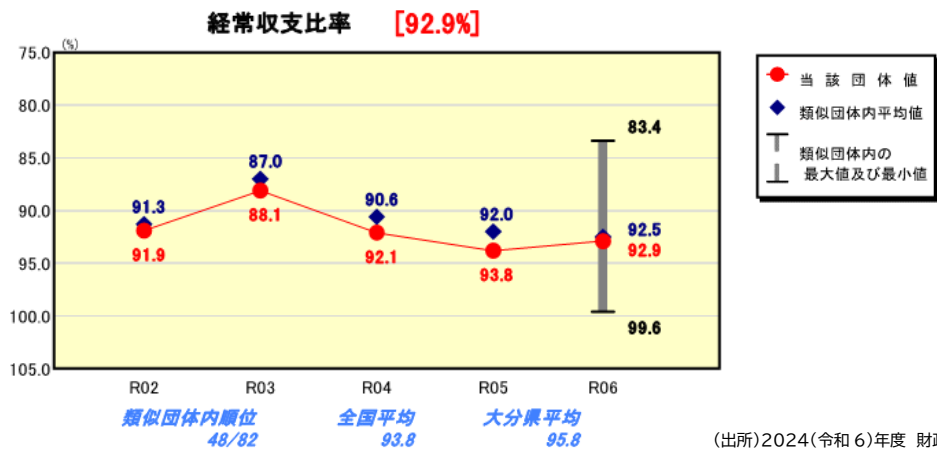
(出所)2024(令和6)年度 財政状況資料集

1. 本市の現況

(イ) 経常収支比率

地方公共団体の財政の弾力性を示す経常収支比率に関して、2024(令和6)年度は、歳出側では扶助費において施設型給付費や児童手当費等で経常歳出が増加(155,367千円)したものの、歳入側では経常一般財源が対前年度比で増加(465,290千円)となったため、対前年度比0.9ポイント改善していますが、類似団体平均は 0.4ポイント上回っています。

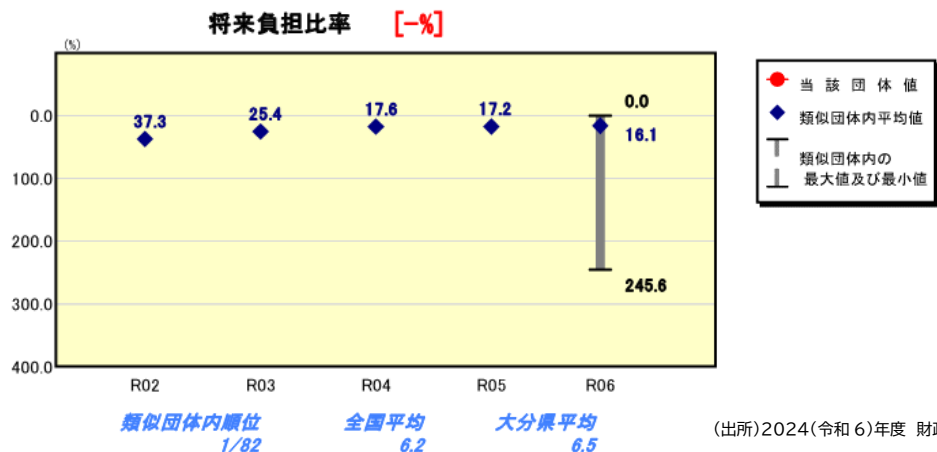
図表 14 経常収支比率の状況



(ウ) 将来負担比率

基準財政需要額算入見込み額の減(△1,076,651千円)や、充当可能特定財源の減(△288,373千円)等の悪化要因がありましたが、地方債の現在高の減(△875,154千円)や、公営企業債等繰入見込み額の減(△92,592千円)等の好転要因があり、将来負担比率は0%となりました。

図表 15 将来負担比率の状況

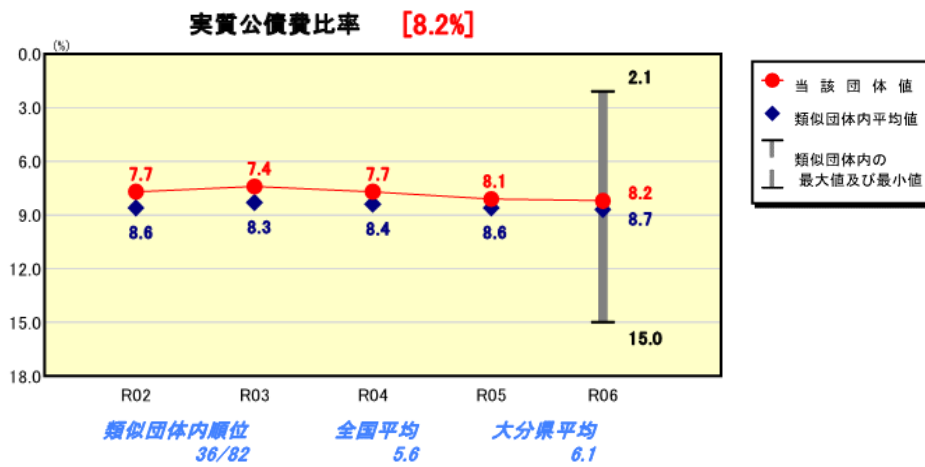


1. 本市の現況

(工)実質公債費比率

普通交付税に算入される公債費、事業費補正の額の増(32,025 千円)や標準税収入額等の増(294,164 千円)等の好転要因がありましたが、元利償還金の増(34,628 千円)等の悪化要因があり、3年平均で対前年比 0.1 ポイントの悪化となりました。

図表 16 実質公債費比率の状況



(出所)2024(令和6)年度 財政状況資料集

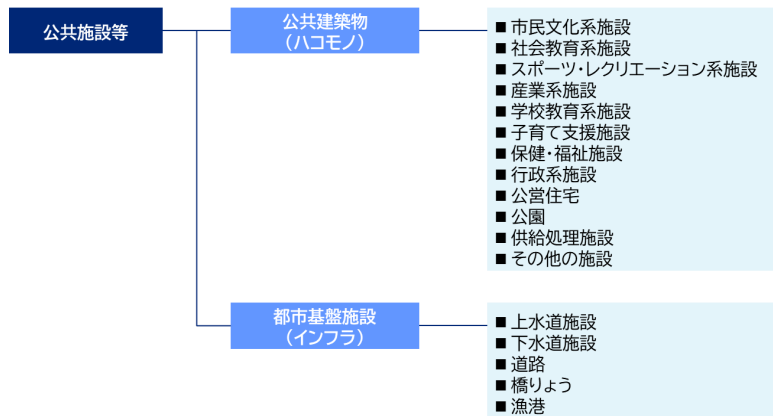
1. 本市の現況

(4) 公共施設等の状況

① 公共施設等の範囲

公共施設等とは、本市が所有する公共建築物(ハコモノ)及び都市基盤施設(インフラ)を総称するものです。本市が所有する公共施設等は以下のとおり分類できます。

図表 17 本市の公共施設等



② 公共建築物(ハコモノ)の状況

本市の公共建築物(ハコモノ)の保有状況は以下のとおりです。分類については、一般財団法人地域総合整備財団が提供している公共施設更新費用試算ソフトの分類表を基本に整理しています。

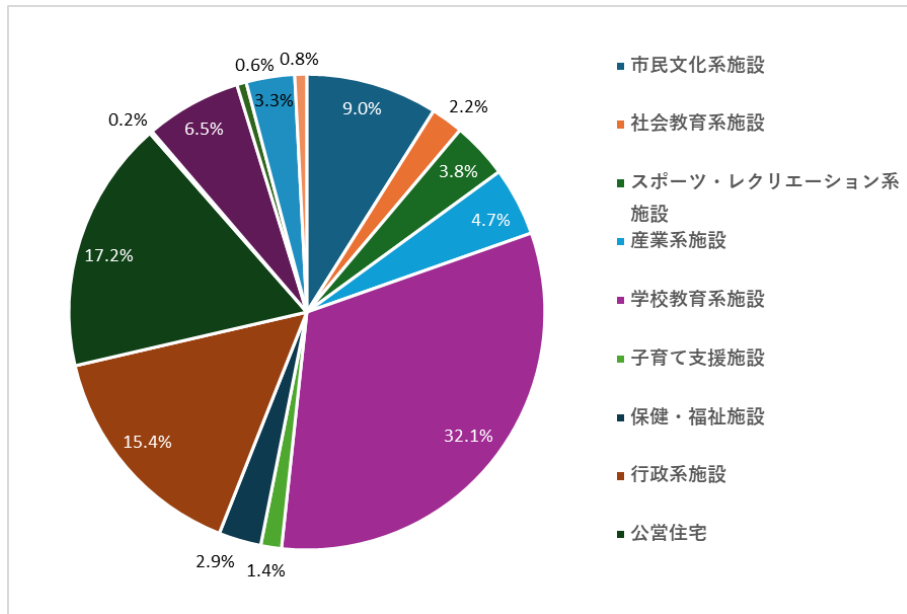
図表 18 公共建築物(ハコモノ)の保有状況

大分類	中分類	施設数	延床面積(㎡)	主な施設
市民文化系施設	集会施設	40	11,249.81	公民館、地区コミュニティセンター
	文化施設	5	9,818	市民会館、中央公民館
社会教育系施設	図書館	3	1,210	図書館
	博物館等	17	3,931.24	歴史資料館、櫓
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	5	4,736.97	市民球場、諏訪山体育館
	レクリエーション施設・観光施設	33	4,270.17	観光交流プラザ、吉四六ランド
産業系施設	産業系施設	15	10,944.93	サーラ・デ・うすき、臼杵市多世代交流館(のつてらす)
学校教育系施設	学校	108	68,074.43	小学校・中学校
	その他教育施設	26	7,452.12	給食センター、廃校施設
子育て支援施設	幼保・こども園	7	1,720.55	下南こども園、廃園施設
	幼児・児童施設	6	1,595.13	こども・子育て総合支援センター(ちあぼーと)、児童クラブ
保健・福祉施設	高齢者福祉施設	27	5,552.78	老人憩いの家、臼杵市安生寮
	障がい者福祉施設	1	347	障がい者交流センター すくらむ
	保健施設	2	888.41	中央地域ふれあい交流館 ほっと館
行政系施設	庁舎等	25	17,790.43	臼杵市役所(臼杵・野津庁舎)、社会基盤整備・災害支援センター
	消防施設	69	6,759.41	臼杵市消防庁舎、野津分署、消防団詰所
	その他行政系施設	37	11,646.03	備蓄倉庫、未利用施設
公営住宅	公営住宅	82	40,366.98	公営住宅
公園	公園	18	459.18	公園トイレ、倉庫
供給処理施設	供給処理施設	10	15,358.05	臼杵市清掃センター、不燃物処理場
上水道施設		5	1,515	浄水場
下水道施設		11	7,748.96	終末処理場、ポンプ場
その他の施設		28	1,917.56	駅舎、公衆トイレ
合 計		580	235,353.14	

1. 本市の現況

延床面積で見た場合、学校教育系施設が75,526.55 m²(32.1%)と最も多くの割合を占めており、次いで公営住宅 40,366.98 m²(17.2%)、行政系施設 36,195.87 m²(15.4%)と続き、これら3つの分類だけで全体の約65%を占めています。

図表 19 延床面積の内訳



大分類	延床面積(m ²)	割合
市民文化系施設	21,067.81	9.0%
社会教育系施設	5,141.24	2.2%
スポーツ・レクリエーション系施設	9,007.14	3.8%
産業系施設	10,944.93	4.7%
学校教育系施設	75,526.55	32.1%
子育て支援施設	3,315.68	1.4%
保健・福祉施設	6,788.19	2.9%
行政系施設	36,195.87	15.4%
公営住宅	40,366.98	17.2%
公園	459.18	0.2%
供給処理施設	15,358.05	6.5%
上水道施設	1,515.00	0.6%
下水道施設	7,748.96	3.3%
その他の施設	1,917.56	0.8%
合計	235,353.14	100%

1. 本市の現況

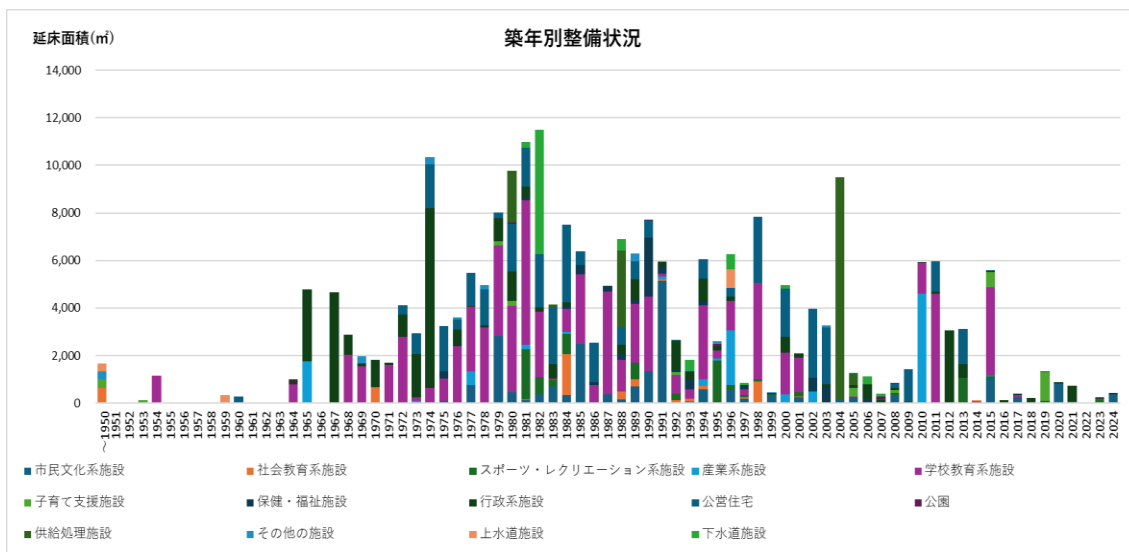
本市が所有する公共建築物のうち、特に整備面積が大きいものとして以下のものがあります。

図表 20 整備面積の大きい公共建築物(上位 10 施設を掲載)

No.	施設名称	延床面積(㎡)	整備年(年)	経過年数(年)
1	不燃物最終処分場	8,370.00	2004	21
2	社会基盤整備・災害支援センター (執務室棟、備蓄物資棟、公文書棟)	8,064.71	1966 (取得は2017)	60
3	臼杵市役所白杵庁舎	6,445.00	1974	51
4	臼杵市土づくりセンター	4,588.00	2011	15
5	野津中学校 校舎(管理教室棟)	4,541.00	2011	14
6	臼杵市民会館	4,206.00	1992	34
7	臼杵終末処理場 汚泥処理施設	3,501.00	1994	43
8	臼杵市清掃センター	3,227.50	1989	37
9	野津小学校校舎	2,992.00	1980	45
10	荒田団地 あさぎ棟	2,902.16	2003	23

公共建築物の築年別整備状況は以下のとおりであり、新耐震基準以前に整備されたものが 74,403.26 ㎡(31.6%)、新耐震基準以降に整備されたものが 160,949.88 ㎡(68.4%)となります。

図表 21 築年別整備状況(延床面積)



(注)築年不明の公共建築物は対象外としています。

1. 本市の現況

特に年あたりの整備面積が大きい1974(昭和49)年、1981(昭和56)年、2004(平成16)年、2010(平成22)年、2011(平成23)年及び2015(平成27)年の整備状況は以下のとおりとなります。

図表 22 整備面積の大きかった年の整備状況(主要なものを掲載)

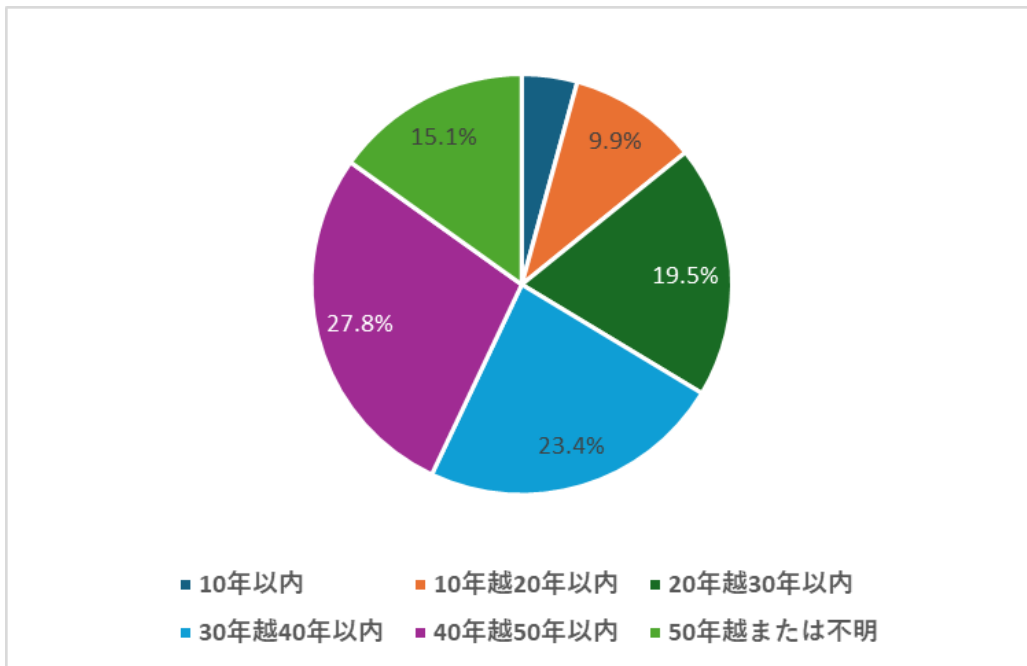
整備年(年)	施設名称	延床面積(m ²)
1974(S49)	市庁舎(臼杵庁舎)	6,445.00
	旧深江中学校 校舎	908
	旧消防庁舎	826
1981(S56)	下南小学校校舎(管理教室棟)	1,642.00
	諏訪団地 80-2A-1	1,613.52
	東中学校校舎(教室棟)	1,578.00
	下南小学校校舎(教室棟)	1,006.00
1982(S57)	臼杵終末処理場 汚泥処理施設	3,501.00
	臼杵市諏訪山体育館	1,990.74
	東中学校 校舎(特別教室)	1,916.00
	諏訪住宅 81-2A-1	1,635.00
2004(H16)	不燃物最終処分場	8,370.00
2010(H22)	臼杵市土づくりセンター	4,588.00
2011(H23)	野津中学校校舎	4,541.00
2015(H27)	福良ヶ丘小学校	2,213.00

1. 本市の現況

築年数別延床面積の構成割合をみると、平成初期に多くの公共建築物を建設しており、築年が40年以上50年以内のものが最も多いことがわかります(全体の27.8%)。

また、老朽化の進んでいる築年31年以上の公共建築物が全体の66.3%を占めています。

図表 23 築年数別延床面積の構成割合



経過年数区分	面積割合	施設数	延床面積(m ²)
10年以内	4.3%	41	10,035.17
10年越20年以内	9.9%	59	23,360.04
20年越30年以内	19.5%	99	45,787.92
30年越40年以内	23.4%	161	55,072.84
40年越50年以内	27.8%	148	65,488.54
50年越または不明	15.1%	72	35,608.63
合計	100%	580	235,353.14

1. 本市の現況

③ 過去に行った対策の実績

建物系公共施設については、2015(平成 27)年度末時点で 222,996 m²あった総延床面積が、2025(令和 7)年末時点では 235,353 m²となっています。

これは防災拠点施設である市浜地区コミュニティセンターを新設したこと、また、大分県より廃校となっていた旧臼杵商業高等学校(現 臼杵市社会基盤整備・災害支援センター)及び旧野津高等学校(現 臼杵市多世代交流館【のつてらす】等)を取得したことが主な増加要因となっています。

図表 24 施設保有量の推移

2015 (平成27年)	2017 (平成29年)	2019 (令和元)	2021 (令和3年)	2023 (令和5年)	2025 (令和7年)
222,996 m ²	234,500 m ²	242,828 m ²	237,427 m ²	236,471 m ²	235,353 m ²

図表 25 近年における主な公共施設整備・解体

年度	施設名	概要	
2021	下南地区コミュニティセンター	新築	
	旧臼杵商業高校屋内運動場	解体	
	旧野津高校管理棟	解体	
	旧野津高校特別教室棟	解体	
2022	社会基盤整備・災害支援センター	新築	備蓄物資倉庫
	野口住宅	解体	
2023	臼杵市総合公園子どもトイレ	新築	
2024	下北地区コミュニティセンター	新築	
	臼杵市野津給食センター	解体	
	臼杵市パークゴルフ場 管理棟	新築	
2025	臼杵庁舎旧第2庁舎	解体	
	旧臼杵市立豊洋中学校	売却	
	臼杵市多世代交流館	改修	のつてらすとして再整備

1. 本市の現況

④ 都市基盤施設(インフラ)の状況

都市基盤施設(インフラ)は、生活や産業の基盤となる重要な施設です。本市の都市基盤施設(インフラ)の保有状況は以下のとおりとなっており、本市の地理的特性上、漁港を有していることが特徴として挙げられます。

図表 26 都市基盤施設(インフラ)の保有状況

分類	名称	数量
上水道 施設	管路延長	430,983m
	導水管	8,263m
	送水管	31,366m
	配水管	391,354m
	管路延長(簡水)	26,993m
	導水管	1,498m
	送水管	5,223m
	配水管	20,272m
	施設数	5施設
	施設面積	1,515㎡
下水道 施設	管路延長	166,762m
	公共下水道	111,163m
	特定環境保全	24,829m
	農業集落排水	29,670m
	漁業集落排水	1,100m
	浄化槽	157基
	施設数	8施設
	施設面積	7,748.9㎡
道路	実延長	615,779.7m
	道路面積	3,071,905㎡
橋りょう	実延長	6,216.7m
	橋りょう面積	34,609㎡
漁港	施設数	10箇所

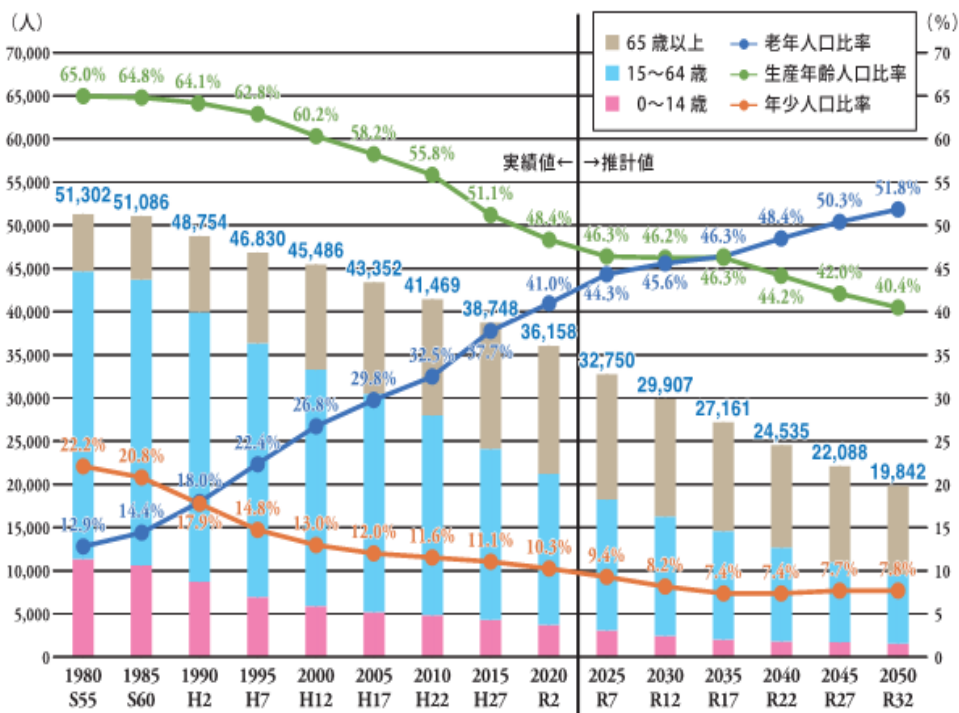
2. 本市の将来の見通し

(1) 将来人口

本市の人口は既に減少に転じており、本市が実施した人口推計によると、2015(平成27)年の38,748人が2035(令和17)年には27,161人と、20年間で約11,500人減少することが予想されています。

人口構成については、15～64歳の生産年齢人口が大幅に減少し、0～14歳の年少人口も減少することから、少子高齢化が一層進行することが予想され、その後すべての年代が減少局面に入ると試算されています。

図表 27 将来人口推計(再掲)



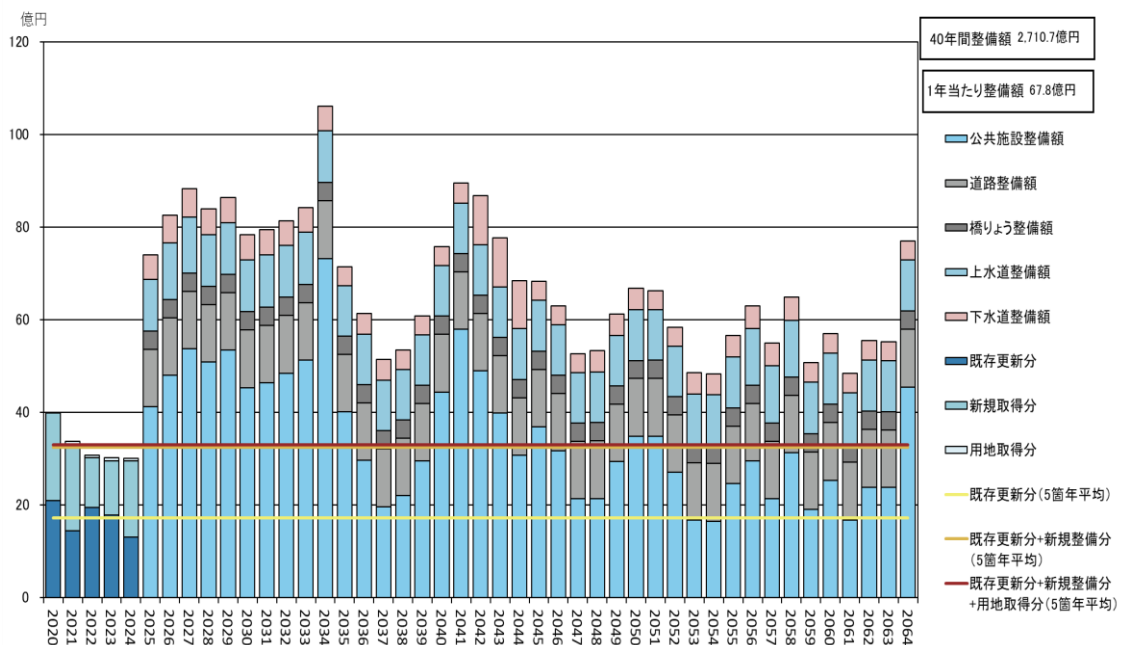
(出所)第3次臼杵市総合計画

2. 本市の将来の見通し

(2) 公共施設等に係る経費見込み

本市の公共施設等の将来期間にわたる更新費用の試算結果は以下のとおりです。試算期間 40 年間の整備額が 2,710.7 億円、1 年当たり整備額が 67.8 億円という結果が示されています。なお、当該試算にあたっての前提は巻末資料として掲載しています。

図表 28 更新費用試算結果(全体)



試算上の前提により、2034(令和 16)年までの期間は、築 31 年以上 50 年未満の公共施設の大規模改修による試算の影響で、要整備額が大きくなっています。特に金額が大きくなっている 2034(令和 16)年、2041(令和 23)年～2043(令和 25)年の状況は以下のとおりです。なお、整備類型の「大規模改修」は基本的な機能を維持するために定期的実施される修繕であり、「建替え」は現在施設の取壊し等を行ったうえで新しい施設を建設することです。

2. 本市の将来の見通し

図表 29 要整備額の大きい年の状況(主要なものを掲載)

整備年(年)	施設名称	整備類型	更新費用(千円)
2032(R14)-2034(R16)	下北小学校校舎(管理教室棟)	建替え	456,720
2034(R16)-2036(R18)	市庁舎(白杵庁舎)	建替え	3,299,840
2034(R16)-2035(R17)	不燃物最終処分場	大規模改修	2,142,720
2033(R15)-2034(R16)	原口H16住宅	大規模改修	515,843
2039(R21)-2041(R23)	白杵中央公民館	建替え	1,441,792
2040(R22)-2041(R23)	白杵市土づくりセンター	大規模改修	1,468,160
2041(R23)-2042(R24)	野津中学校 校舎(管理教室棟)	大規模改修	988,122
2041(R23)-2043(R25)	白杵市諏訪山体育館	建替え	917,333

(注)更新費用はあくまで試算上の金額であり、実際に要する金額とは異なる。

図表 30 【参考】公共建築物の年別要整備額

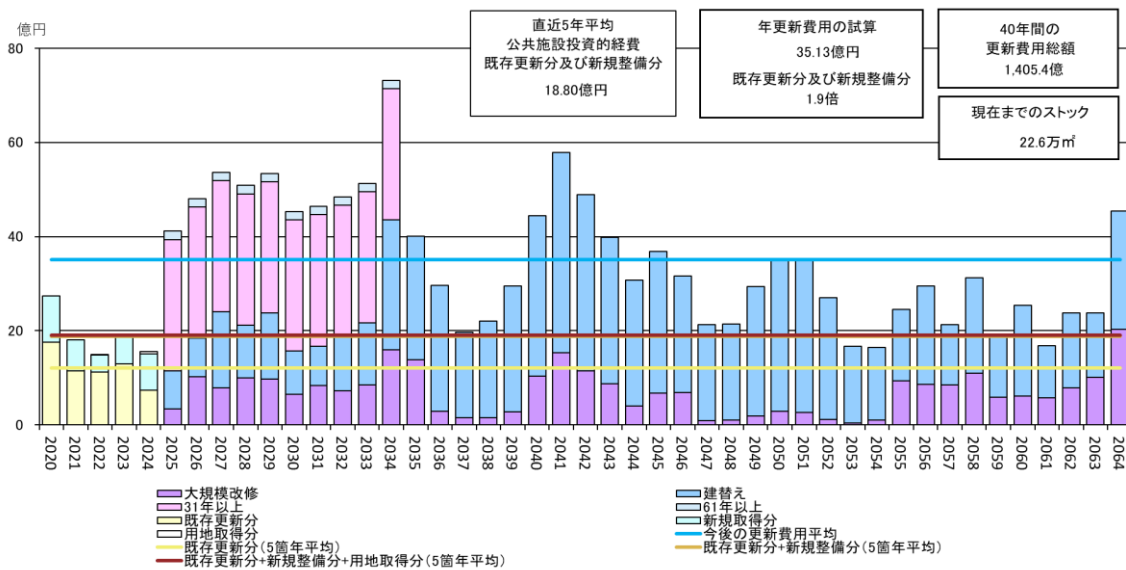
(千円)						(千円)					
年度	大規模改修	第31年以上50年未満の公共施設の大規模改修	建替え	第61年以上の公共施設の建替え	合計	年度	大規模改修	第31年以上50年未満の公共施設の大規模改修	建替え	第61年以上の公共施設の建替え	合計
2025(R7)	333,460	2,788,240	817,758	174,918	4,114,376	2045(R27)	675,260	0	3,009,771	0	3,685,031
2026(R8)	1,020,593	2,788,240	817,758	174,918	4,801,508	2046(R28)	689,613	0	2,474,432	0	3,164,045
2027(R9)	787,918	2,788,240	1,614,143	174,918	5,365,219	2047(R29)	82,892	0	2,047,800	0	2,130,693
2028(R10)	1,001,642	2,788,240	1,120,255	174,918	5,085,054	2048(R30)	96,839	0	2,041,700	0	2,138,539
2029(R11)	970,397	2,788,240	1,407,142	174,918	5,340,696	2049(R31)	184,467	0	2,747,760	0	2,932,227
2030(R12)	647,695	2,788,240	923,298	174,918	4,534,150	2050(R32)	288,440	0	3,194,964	0	3,483,404
2031(R13)	834,359	2,788,240	840,149	174,918	4,637,666	2051(R33)	256,868	0	3,228,999	0	3,485,867
2032(R14)	723,219	2,788,240	1,160,597	174,918	4,846,974	2052(R34)	116,373	0	2,582,808	0	2,699,181
2033(R15)	846,131	2,788,240	1,317,795	174,918	5,127,083	2053(R35)	32,715	0	1,639,591	0	1,672,306
2034(R16)	1,599,702	2,788,240	2,761,035	174,918	7,323,894	2054(R36)	101,683	0	1,544,714	0	1,646,397
2035(R17)	1,387,643	0	2,616,484	0	4,004,128	2055(R37)	930,750	0	1,525,222	0	2,455,973
2036(R18)	285,858	0	2,678,140	0	2,963,997	2056(R38)	861,782	0	2,086,960	0	2,948,742
2037(R19)	154,386	0	1,807,355	0	1,961,741	2057(R39)	841,745	0	1,292,320	0	2,134,066
2038(R20)	151,863	0	2,047,164	0	2,199,027	2058(R40)	1,098,533	0	2,024,589	0	3,123,122
2039(R21)	273,666	0	2,670,863	0	2,944,529	2059(R41)	579,944	0	1,324,322	0	1,904,266
2040(R22)	1,039,868	0	3,399,067	0	4,438,936	2060(R42)	616,165	0	1,917,685	0	2,533,849
2041(R23)	1,534,261	0	4,258,676	0	5,792,937	2061(R43)	576,257	0	1,098,642	0	1,674,899
2042(R24)	1,141,781	0	3,748,897	0	4,890,678	2062(R44)	779,128	0	1,602,861	0	2,381,989
2043(R25)	877,246	0	3,101,771	0	3,979,016	2063(R45)	1,007,736	0	1,368,483	0	2,376,219
2044(R26)	395,467	0	2,676,356	0	3,071,823	2064(R46)	2,028,118	0	2,517,510	0	4,545,628

(注)「公共施設等更新費用試算ソフト仕様書(平成28年1月)」に基づいて試算。
大規模改修の積み残し処理を割り当てる年数は、試算時点で、建設時から経過年数が31年以上50年までのものは今後10年間で均等に大規模改修を行うと仮定し、建設時より51年以上経過しているものは建替えの時期が近いと仮定し、大規模改修は行わず60年を経過した年度に建替えると仮定しています。また、建替えの積み残し処理については試算時点で、既に60年を経過しているものを今後10年間で行うものと仮定し、均等に算出しています。

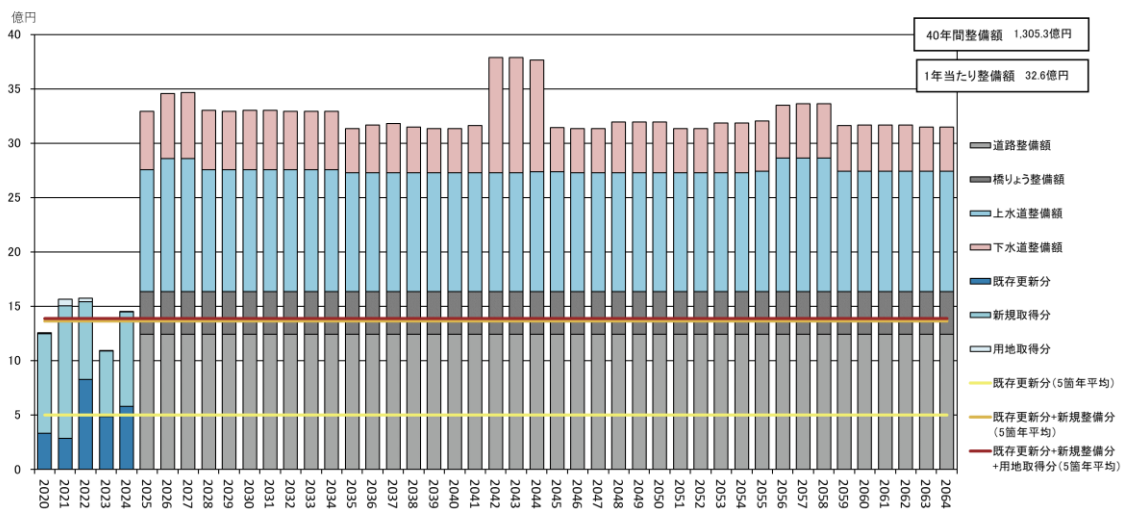
2. 本市の将来の見通し

以下では、更新費用の試算結果の内訳として、公共建築物(ハコモノ)、都市基盤施設(インフラ)の試算結果を示すとともに、都市基盤施設の内訳である上水道施設、下水道施設、道路及び橋りょうの試算結果を示しています。

図表 31 【参考】更新費用試算結果(公共建築物)

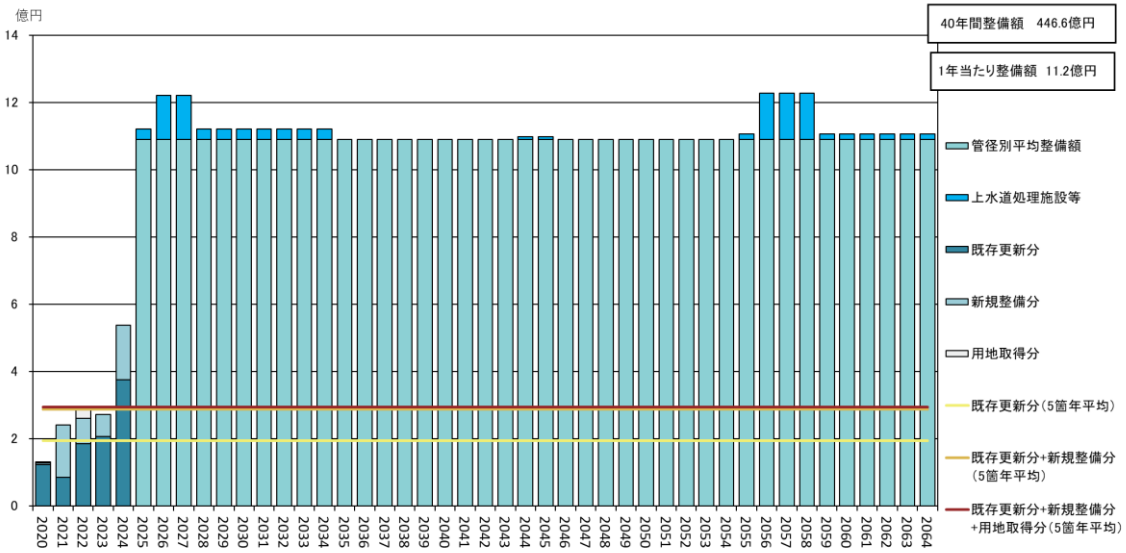


図表 32 【参考】更新費用試算結果(都市基盤施設)

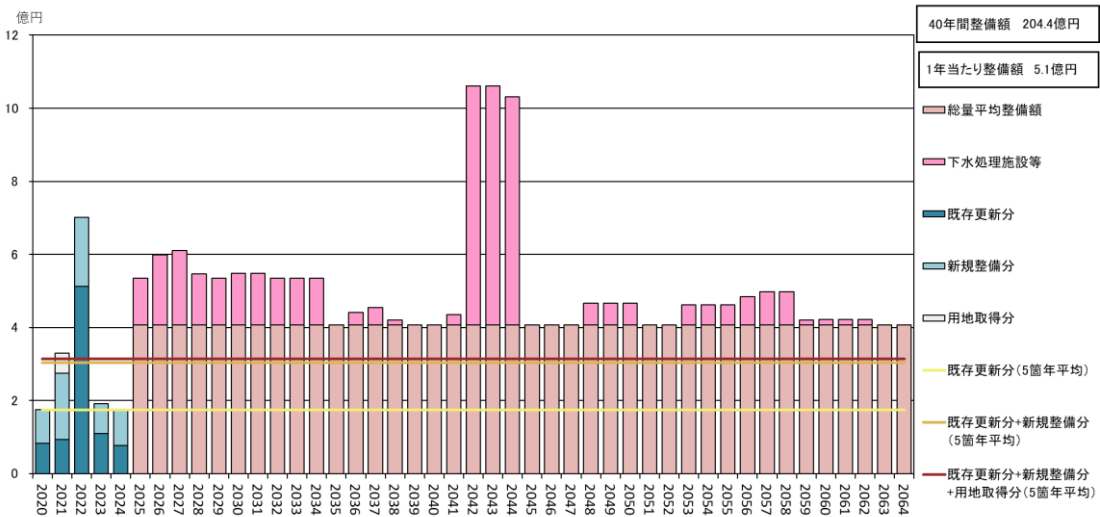


2. 本市の将来の見通し

図表 33 【参考】更新費用試算結果(上水道施設)

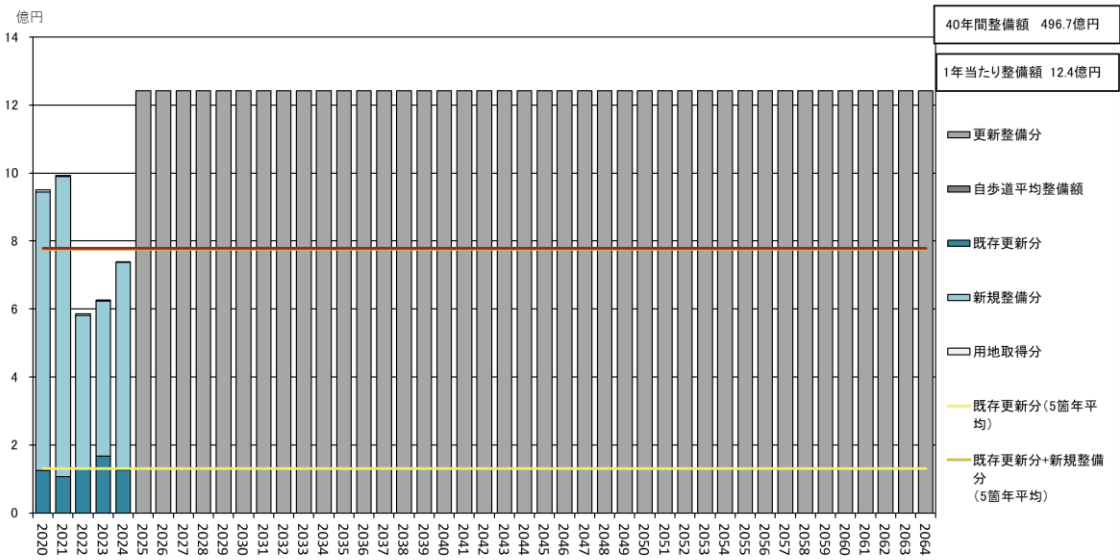


図表 34 【参考】更新費用試算結果(下水道施設)

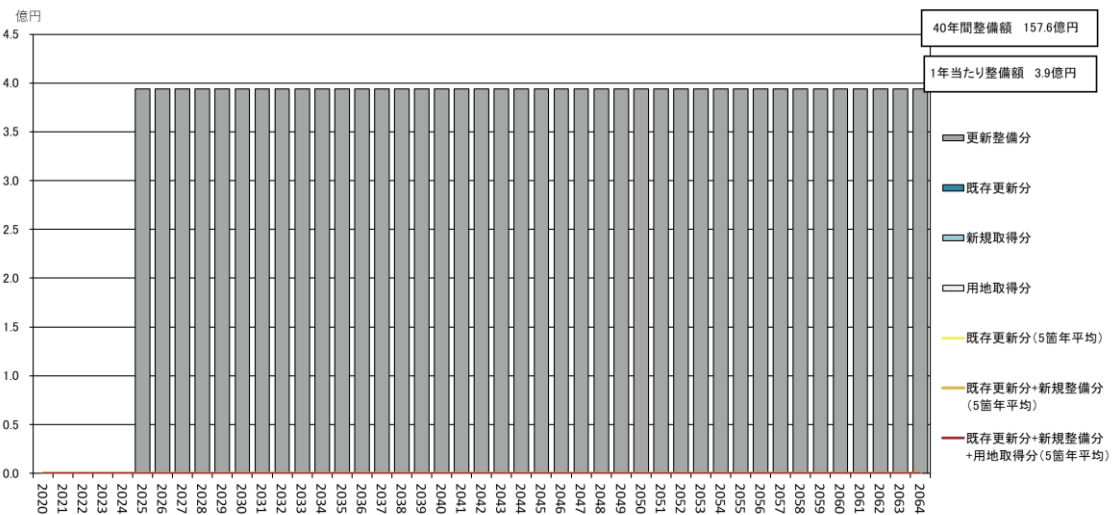


2. 本市の将来の見通し

図表 35 【参考】更新費用試算結果(道路)



図表 36 【参考】更新費用試算結果(橋りょう)



2. 本市の将来の見通し

(3)中期財政計画の状況

本市では持続可能な財政運営を推進していくために、「臼杵市中期財政計画」を作成し、更新費用に充当可能な財源を含めた今後の財政見通しを示し、2025(令和7)年度～2029(令和11)年度において、次の目標を掲げています。

- 計画期間内5カ年間の各年度の公債費(市債元利償還金)を2009(平成21)年度の公債費(3,163,523千円)以下とします。
- 将来の公共施設の更新や改修、また庁舎建替えに備えて庁舎建設基金や市有施設整備基金の残高増額に努めます。

本計画における2025(令和7)年度から2029(令和11)年度(5カ年)の収支見通しは以下のとおりです。なお、当該試算にあたっての前提は巻末資料として掲載しています。

図表 37 中期財政計画収支の試算(普通会計)

Ⅲ 中期財政収支の試算(普通会計)

(単位：千円)

区 分	6 年 度	7 年 度	増減率	8 年 度	増減率	9 年 度	増減率	10 年 度	増減率	11 年 度	増減率
	(決算額)	(見込額)									
歳 入 合 計 (A)	23,533,855	22,732,924	△ 3.4%	24,054,111	5.8%	23,595,508	△ 1.9%	23,398,463	△ 0.8%	23,960,758	2.4%
地方 税	4,234,892	4,366,442	3.1%	4,406,779	0.9%	4,348,766	△ 1.3%	4,352,469	0.1%	4,351,914	△ 0.0%
地方 交 付 税	8,007,454	7,669,428	△ 4.2%	7,882,805	2.8%	7,868,841	△ 0.2%	7,785,871	△ 1.1%	7,721,239	△ 0.8%
国 庫 支 出 金	3,579,371	3,261,094	△ 8.9%	3,629,581	11.3%	3,658,555	0.8%	4,076,172	11.4%	4,327,278	6.2%
県 支 出 金	1,808,705	1,806,503	△ 0.1%	2,087,834	15.6%	2,043,834	△ 2.1%	2,062,839	0.9%	2,036,820	△ 1.3%
地 方 債	2,059,438	2,088,800	1.4%	2,883,600	38.1%	2,512,000	△ 12.9%	1,957,600	△ 22.1%	2,370,500	21.1%
そ の 他	3,843,995	3,540,657	△ 7.9%	3,163,512	△ 10.7%	3,163,512	0.0%	3,163,512	0.0%	3,153,007	△ 0.3%
(参考)一般財源総額	13,760,901	13,396,306	△ 2.6%	13,654,804	1.9%	13,582,827	△ 0.5%	13,503,560	△ 0.6%	13,438,373	△ 0.5%
歳 出 合 計 (B)	23,090,103	22,647,239	△ 1.9%	24,030,400	6.1%	23,722,877	△ 1.3%	23,602,738	△ 0.5%	24,071,912	2.0%
義務 的 経 費	11,675,745	11,742,764	0.6%	11,750,045	0.1%	11,606,812	△ 1.2%	11,629,047	0.2%	11,475,515	△ 1.3%
人 件 費	3,670,214	3,860,506	5.2%	3,935,013	1.9%	3,848,281	△ 2.2%	3,990,894	3.7%	3,859,543	△ 3.3%
扶 助 費	5,000,929	4,890,091	△ 2.2%	4,760,091	△ 2.7%	4,760,091	0.0%	4,760,091	0.0%	4,760,091	0.0%
公 債 費	3,004,602	2,992,167	△ 0.4%	3,054,941	2.1%	2,998,440	△ 1.8%	2,878,062	△ 4.0%	2,855,881	△ 0.8%
投 資 的 経 費	3,184,626	2,502,280	△ 21.4%	4,157,866	66.2%	3,967,825	△ 4.6%	3,917,262	△ 1.3%	4,449,328	13.6%
普通建設事業費	2,964,882	2,502,280	△ 15.6%	4,157,866	66.2%	3,967,825	△ 4.6%	3,917,262	△ 1.3%	4,449,328	13.6%
補助事業	609,394	633,528	4.0%	1,370,352	116.3%	1,490,230	8.7%	1,789,058	20.1%	2,313,964	29.3%
単独事業	2,355,488	1,868,752	△ 20.7%	2,787,514	49.2%	2,477,595	△ 11.1%	2,128,204	△ 14.1%	2,135,364	0.3%
その他(災害復旧事業費等)	219,744	0	皆減	0	-	0	-	0	-	0	-
そ の 他 の 経 費	8,229,732	8,402,195	2.1%	8,122,489	△ 3.3%	8,148,240	0.3%	8,056,429	△ 1.1%	8,147,069	1.1%
物 件 費	3,438,631	3,467,390	0.8%	3,514,305	1.4%	3,431,305	△ 2.4%	3,432,930	0.0%	3,434,555	0.0%
維持補修費	55,942	55,942	0.0%	55,942	0.0%	55,942	0.0%	55,942	0.0%	55,942	0.0%
補助費等	1,993,978	2,085,161	4.6%	2,149,405	3.1%	2,150,240	0.0%	2,229,926	3.7%	2,208,129	△ 1.0%
繰 出 金	2,041,562	2,127,095	4.2%	2,023,026	△ 4.9%	2,040,143	0.8%	2,042,022	0.1%	2,044,132	0.1%
そ の 他	699,619	666,607	△ 4.7%	379,811	△ 43.0%	470,610	23.9%	295,609	△ 37.2%	404,311	36.8%
要 需 差 額 (A) - (B)	443,752	85,685		23,711		▲ 127,369		▲ 204,275		▲ 111,154	

(出所)臼杵市中期財政計画(2025(令和7)年度～2029(令和11)年度)

2. 本市の将来の見通し

図表 38(参考)プライマリーバランス等の状況

①【プライマリーバランスの状況】

項目/年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
(a) 地方債発行額	2,059,438	2,088,800	2,883,600	2,512,000	1,957,600	2,370,500
(b) 公債費	3,004,602	2,992,167	3,054,941	2,998,440	2,878,062	2,855,881
(b) - (a)	945,164	903,367	171,341	486,440	920,462	485,381

②【実質公債費比率の状況】

項目/年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
実質公債費比率(3カ年平均)	8.2%	8.3%	8.4%	8.6%	8.7%	9.2%

③【経常収支比率の状況】

項目/年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
経常収支比率	92.9%	96.3%	94.9%	94.1%	95.1%	94.4%

④【基金の状況】

区 分	6年度	7年度		8年度		9年度		10年度		11年度	
	(決算額)	(見込額)	増減率		増減率		増減率		増減率		増減率
財政調整基金	3,016,972	3,354,964	11.2%	3,438,224	2.5%	3,338,675	△2.9%	3,162,203	△5.3%	3,078,839	△2.6%
減債基金	962,737	900,627	△6.5%	863,078	△4.2%	857,258	△0.7%	851,455	△0.7%	845,665	△0.7%
財政調整基金残高	3,979,709	4,255,591	6.9%	4,301,302	1.1%	4,195,933	△2.4%	4,013,658	△4.3%	3,924,504	△2.2%
その他特定目的基金	5,201,795	5,045,459	△3.0%	4,794,659	△5.0%	4,643,859	△3.1%	4,393,059	△5.4%	4,252,764	△3.2%
年度末基金残高	9,181,504	9,301,050	1.3%	9,095,961	△2.2%	8,839,792	△2.8%	8,406,717	△4.9%	8,177,268	△2.7%

(出所)白杵市中期財政計画(2025(令和7)年度～2029(令和11)年度)

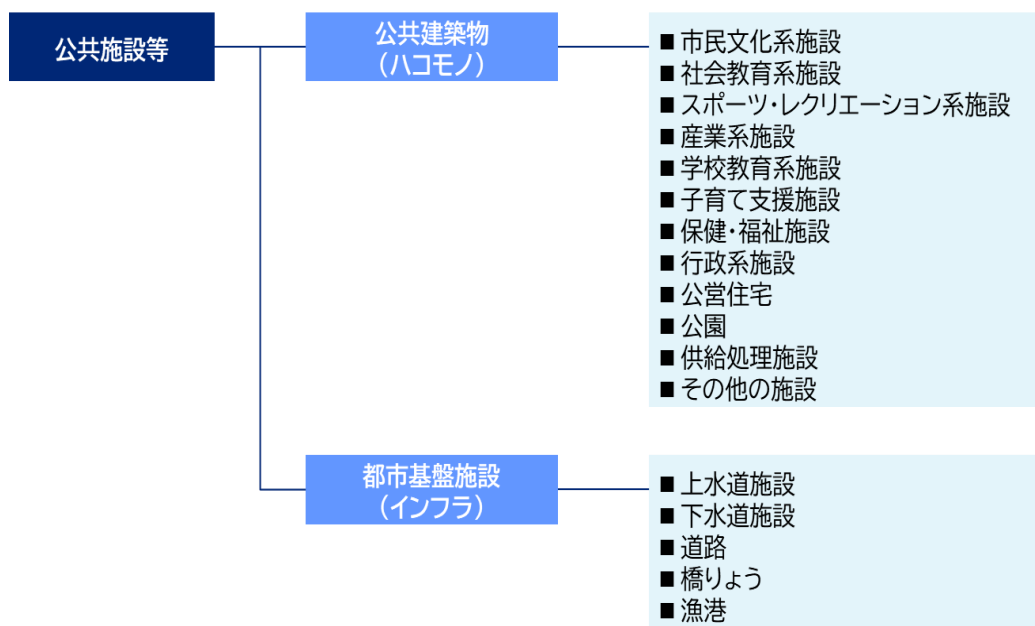
3. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

(1) 公共施設等総合管理計画の対象施設

公共施設等総合管理計画は、長期的視点をもって公共施設等の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより財政負担を軽減・平準化するとともに、その最適な配置を実現しようとするものであるため、公共施設等の全体を把握する必要があります。

したがって、公共施設等総合管理計画の対象となる公共施設等は、地方公共団体が所有する建築物だけでなく、道路・橋りょう等のインフラ施設や公営企業の施設も含んでいます。本市の公共施設等総合管理計画では、対象施設を公共建築物(ハコモノ)と都市基盤施設(インフラ)に大別した上で、以下のように類型化しています。

図表 39 本市の公共施設等(再掲)



3. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

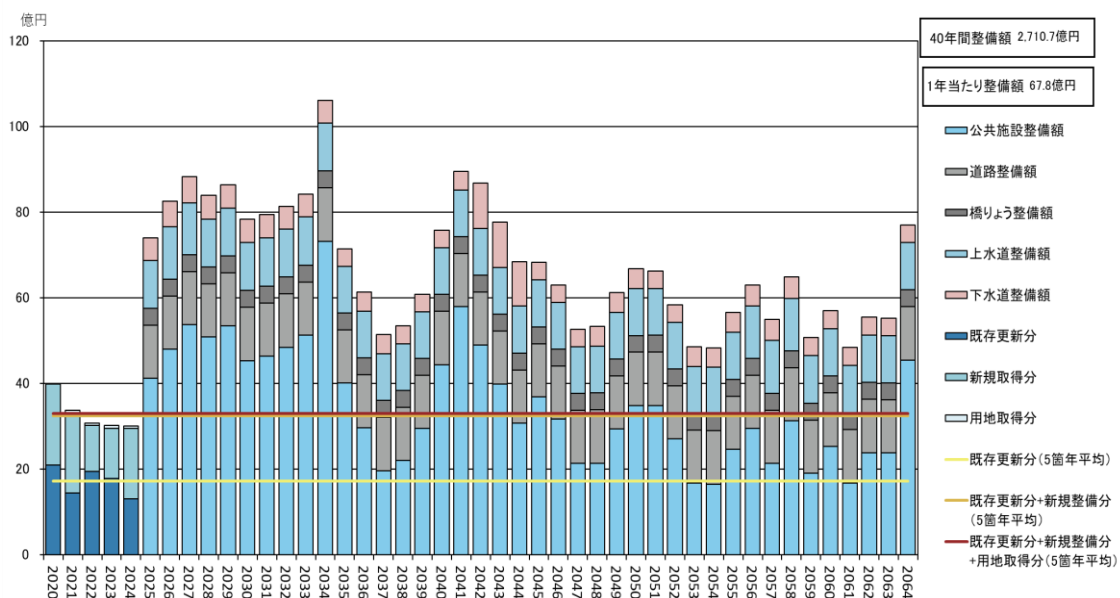
(2) 計画期間

本計画期間は、20年(2016(平成28)年度～2035(令和17)年度)としています。

また、その期間を前期10年(2016(平成28)年度～2025(令和7)年度)、後期10年(2026(令和8)年度～2035(令和17)年度)に区分し、前期10年は、2016(平成28)年度からの10年間を計画期間として『第2次臼杵市総合計画』を軸に、関連計画等と一体で取り組んできました。後期10年については、2034(令和16)に迎えるピーク期間に備えるための「戦略期間」とし、『第3次臼杵市総合計画』等との整合を図り、総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針を基に、厳しい財源の中でも必要とされる施設の積極的な導入や可能な限り次世代に負担を残さない効率的・効果的な公共施設等の運営を実現するための方策を検討・実行する期間とします。

なお、本計画は計画期間内であっても、必要に応じて適宜計画を見直し、特に将来の経費見込み等についてはタイムリーな情報収集・更新に努めることとしています。

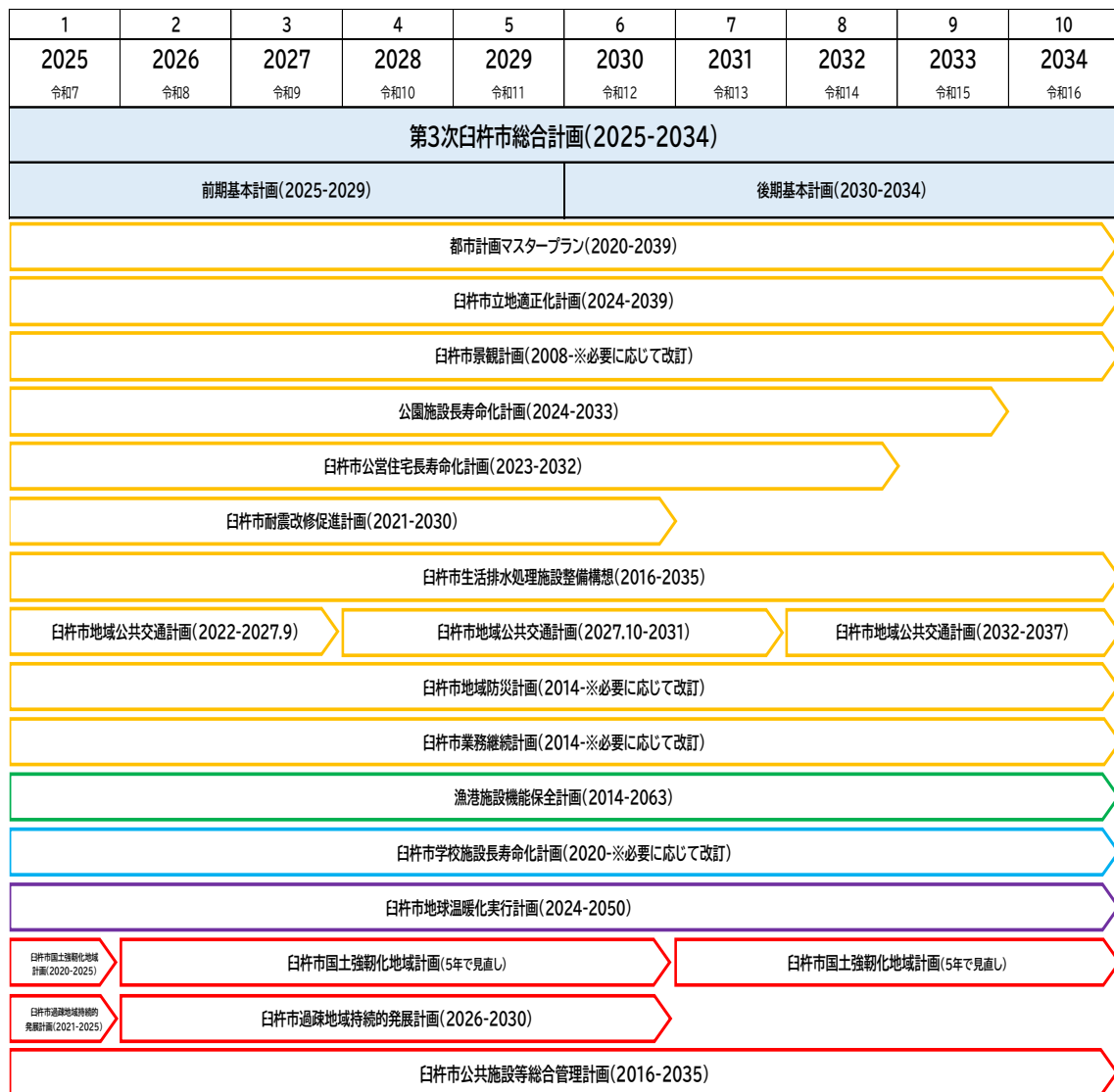
図表 40 計画期間の考え方(グラフ再掲)



3. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

なお、公共施設等総合管理計画(個別施設計画含む)と、本市の他の計画との主な関係は、以下のとおりです。

図表 41 【参考】公共施設等総合管理計画と主な他の計画の関係



(出所)第3次臼杵市総合計画(個別分野計画より抜粋)

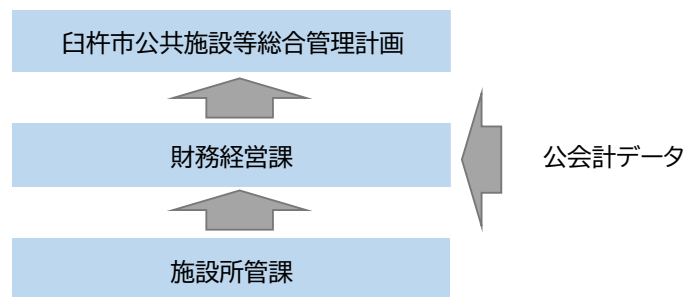
3. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

(3) 全庁的な取組体制の構築及び情報管理・共有方策

① 全庁的な取組体制

財務経営課が公共施設等の情報のとりまとめ部署としての役割を果たし、収集した情報をもとに計画的に施設等の維持保全を進めていくこととします。また、利活用並びに取得、処分及び管理については、公有財産利活用検討委員会で検討を行います。

図表 4.2 財務経営課への情報集約イメージ



② 情報管理・共有の方策

公共施設等の品質(老朽度・劣化度、修繕の必要度、利用者の満足度等)、供給(施設利用度、キャパシティ、施設ニーズ等)、財務(ランニングコスト、ライフサイクルコスト等)の観点から、各施設等の所管部署が情報の収集・管理を行い、財務経営課の要請に応じて必要な情報を提供できる体制を整えるとともに、収集・管理した情報を積極的に活用し、施設等の管理運営の改善に役立てることとします。

また、財務経営課は、新地方公会計制度において必要となる固定資産台帳の整備・更新や、複式仕訳時に、公共施設等の取得、除売却、修繕(資本的支出に該当するか否かの検討を含む)等の情報を収集し、正確性を確保したバランスシート等の作成に努め、俯瞰的に全庁の固定資産形成の状況を把握します。



建設から50年を経過した白杵市役所白杵庁舎

3. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

(4) 現状や課題に関する基本認識

① 現状及び課題

本市の公共施設等の現状及び課題について、財務、品質、供給の観点から以下のとおり整理します。

(ア) 財務の観点

本市の財政状況は厳しく、主たる財源である地方税は人口減少等の影響を受け、減少傾向にあります。また、扶助費が増加しており、義務的経費比率が高い状態にあることから、公共施設等の維持・更新に費やすことのできる財源は限られています。試算結果(巻末資料に記載する試算)によると、年平均約 68 億円の公共施設等への投資が必要ですが、過去 5 年間の経費は約 33 億円であり、現在の水準の約 2.1 倍の投資が必要となっており、財源が不足しています。

(イ) 品質の観点

本市の公共施設等は老朽化が進んでおり、総数の 66.3%が築 30 年超、42.9%が築 40年を経過しています。また、有形固定資産減価償却率も 68%超と高い水準にあります。施設の老朽化に伴い、施設の安全性や快適性、利用者ニーズを満たせず利用者満足度が低下する可能性があります。

(ウ) 供給の観点

公共施設等の主な利用者は市民の方々ですが、人口推計結果によると、今後も少子高齢化が進み、高齢化率が高まりつつ各年代の人口が減少する見込みとなっています。これらの状況を背景として、施設需要にも変化が見られることが想定され、例えば、高齢者福祉関連施設の需要が高まる一方で、小中学校等の年少世代が利用する施設は、1施設あたりの利用人数が低下することが予想されます。

また、社会経済環境の変化に伴い、新たな施設需要が生まれる可能性が考えられます。

3. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

② 公共施設等マネジメント基本方針

上記の現状及び課題を踏まえ、本市の公共施設等マネジメント基本方針として、以下の3点を推進します。

(ア)財源の確保

厳しい財政状況の中で、公共施設等の維持・更新のための財源を確保することは難しい課題です。国等の財政的支援を援用しつつ、住民の安心・安全のために必要な維持・更新に努めます。

具体的には、管理方法の工夫や省エネルギー設備の設置等による全体としてのコスト縮減、国が制度設計している除却債や公共施設最適化事業、PPP/PFI 制度の活用、公共施設等の維持・更新のための基金等の設置等、財源確保のための方策を検討し、計画的に、将来の維持・更新投資に備えることが不可欠です。

(イ)計画的な維持・更新

公共施設等の老朽化への対応として、これまで公共施設等の所管部署がそれぞれ保有していた公共施設等に関連する情報を一元的に集約し、全庁的にどの程度の維持・更新費用が必要かを把握した上で、優先順位の高いものから計画的に維持・更新を行うこととします。具体的には、必要性の高いものから順次、施設類型単位、あるいは個別施設単位で維持・更新計画を策定し、計画に基づいた予算要求、予算執行を行うこととします。また、公共施設等の必要性については慎重に検討し、施設の長寿命化、複合化、廃止、除却等を検討・実施することにより施設の最適化に努めます。

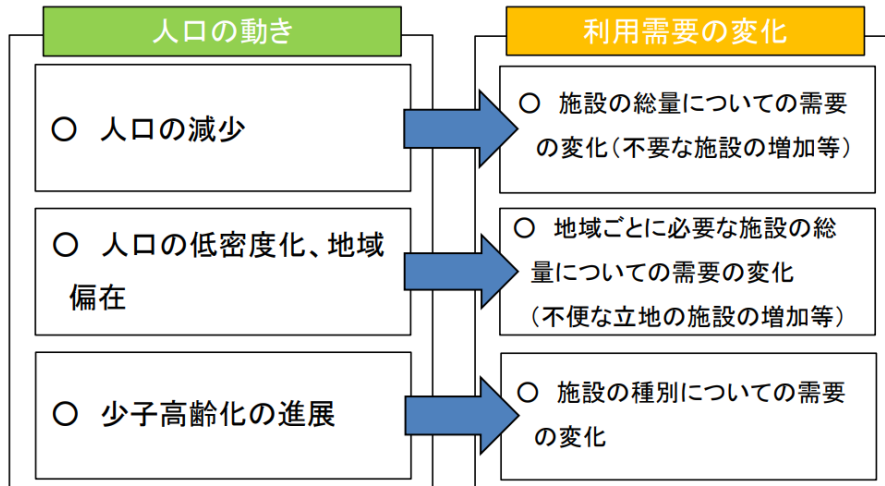
(ウ)まちづくりの観点での施設配置の検討

人口動態の変化により、行政ニーズや施設需要が変化することが予想されています。これらのニーズを的確に把握するとともに、本市の中長期的な計画を踏まえて、まちづくりの観点から、必要なサービス水準や施設需要を考慮した施設配置に努めます。

公的施設等の最適利用を図るため、国・県・近隣市町と広域的な相互利用等が可能であるかについて検討します。また、本市は地震発生に伴い津波による被害が想定される地勢であることから、防災的観点も取り入れた施設配置を行うこととします。

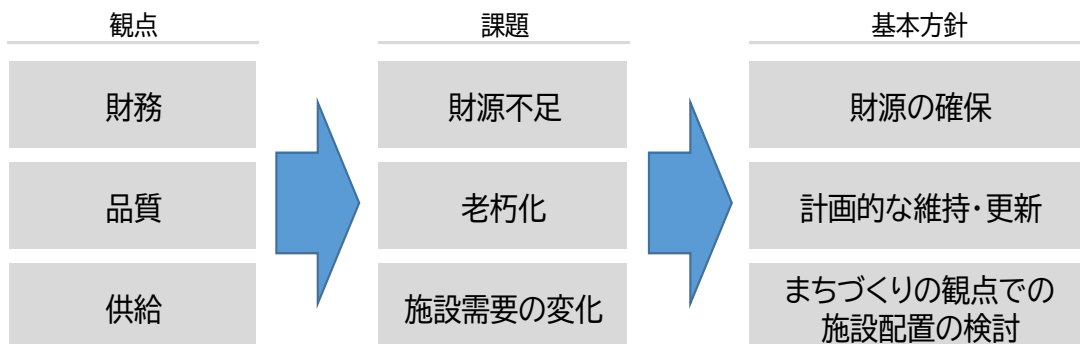
3. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

図表 43 人口の動きから見た公共施設等マネジメントの必要性



(出所)令和7年度総務省「公共施設の適正管理について」

図表 44 公共施設等マネジメント基本方針のイメージ



完熟堆肥(うすき夢堆肥)を製造する 白杵市土づくりセンター



3. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

(5) 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

① 点検・診断等の実施方針

公共施設等は、設置環境や使用方法、経年劣化から生じる汚れ、損傷、老朽化の進行等に伴い、本来の機能が低下するものです。

対処療法的に劣化の進んだ施設等の補修を行う(事後保全)のではなく、劣化が進む前に、日常点検・定期点検・臨時点検や劣化診断を行い、対策を行う(予防保全)ことで、施設等の長寿命化を図り、トータルコストの縮減に努めることとします。

また、点検・診断等の履歴情報を集積・蓄積することで、全庁的に施設等の老朽度を把握し、計画的な老朽化対策を進めることとします。

② 維持管理・修繕・更新等の実施方針

①の方針に従い公共施設等の点検・診断等を実施した上で、都市計画マスタープランや立地適正化計画等といった各種計画等と連携しつつ、計画的に維持管理・修繕・更新等を実施します。

維持管理・修繕・更新等には、経費を伴うことが想定されますが、必要な維持管理・修繕・更新等が適切な時期に行われ、先延ばしにされないことがないよう、優先順位付けを行い実施に努めます。特に、老朽化が進んでいる施設等については、維持管理・修繕・更新等の必要性を慎重に検討し、また、維持管理・修繕・更新等の履歴情報を集積・蓄積することで、全庁的に施設等の老朽度を把握し、計画的な老朽化対策を進めることとします。

清掃や廃棄物処理は、法令等に基づき適切な実施に努め、清掃活動は、施設等の環境を常に衛生的な状態に維持し、快適性を高めるとともに、劣化を防止するため、重要な活動であることを意識して取り組みます。

③ 安全確保の実施方針

公共施設等における安全確保は、利用者の生命や資産や情報の保全を目的とした重要な取組であることから、万一の事故・災害に遭遇した際の損害を最小限にとどめ、適時に復旧する体制を平時から整えるための備えを行います。

巡視・点検・診断等の結果、損傷、異常等が発見され、危険性が高いと認められた公共施設等については必要に応じて施設への立入制限及び現場の応急的な措置を講じるとともに、速やかに修繕・改修を検討します。

また、老朽化等により供用廃止され、かつ今後とも利用見込みのない公共施設等については、取り壊し等を視野に入れた対策を検討します。

3. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

④ 耐震化の実施方針

本市では、災害対策基本法(昭和 36 年法律第 223 号)第 42 条の規定に基づき、臼杵市における地震・津波災害に対応するための活動体制の整備確立を図るとともに、防災行政を総合的かつ計画的に推進し、もって市域の保全と市民の生命、身体及び財産を災害から保護することを目的として、『臼杵市地域防災計画(地震・津波対策編)』を策定しています。また、2019(平成 31)年 1 月に改正施行された耐震改修促進法第6条の規定に基づき、国の基本方針及び大分県耐震改修促進計画、臼杵市地域防災計画等との整合を図った『臼杵市耐震改修促進計画』をあわせて策定しています。

図表 45 建築物の耐震関連法令等の動向

耐震関連法令等の名称	内容
1981(昭和 56)年 5 月 建築基準法改正	<ul style="list-style-type: none"> ● 1978(昭和 53)年の宮城県沖地震後、耐震基準が大幅に改正された(新耐震基準) ● 新耐震基準による建築物は、1995(平成 7)年に発生した阪神・淡路大震災での被害の程度は少なかったため、新耐震基準は概ね妥当であると考えられた
1995(平成 7)年 12 月 建築物の耐震改修の促進に関する法律(耐震改修促進法)	<ul style="list-style-type: none"> ● 新耐震基準を満たさない建築物について、積極的に耐震診断・改修が促進された
2006(平成 18)年 1 月 改正耐震改修促進法	<ul style="list-style-type: none"> ● 大規模地震に備えて学校や病院などの建築物や住宅の耐震診断・改修を促進するため、数値目標の設定が都道府県に義務付けられた ● 鉄筋コンクリートや鉄骨造の建築物で、学校・病院・ホテル・事務所その他多数の者が利用する建物のうち 3 階建以上で床面積が 1,000 m² 以上のものは、新耐震基準と同等以上の耐震性能を確保するよう耐震診断・改修に努めることとされた
2014(平成 26)年 4 月 建築基準法施行令改正	<ul style="list-style-type: none"> ● 東日本大震災で吊天井等の非構造部材で甚大な被害が生じたことから、吊天井に関する技術基準が制定された(対象:新築建築物) ● 既存建築物は、増改築時に適用できる基準として位置づけられた ● 既存建築物のうち防災拠点施設や多くの客席を有する施設(例:中央公民館、市民会館など)は、早急に改善すべき施設として位置づけられ行政指導が可能となった

3. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

また、耐震化の実施にあたっては、これらの計画に沿った対応を図ることとし、特に新耐震基準によらない既存建築物については、災害応急対策実施上の重要性、有効性、地域特性等を考慮し、防災上重要な建築物を選定して耐震診断を実施し、耐震性の劣るものは、当該建築物の重要度を考慮して耐震改修の推進に努めます。

図表 46 耐震化の状況

建築物	現況の耐震化率(%) (令和2年)	耐震化率の目標(%) (令和12年度)
住宅	70.4	90
特定建築物	86.0	100
公共施設	97.3	100

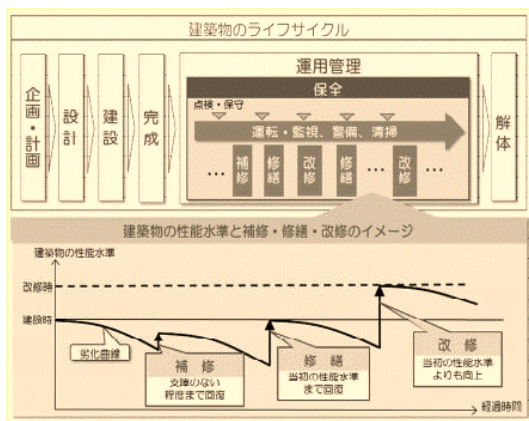
※住宅についての現況の耐震化率は平成30年の数値

(出所)白杵市耐震改修促進計画(2021(令和3)年3月改定)

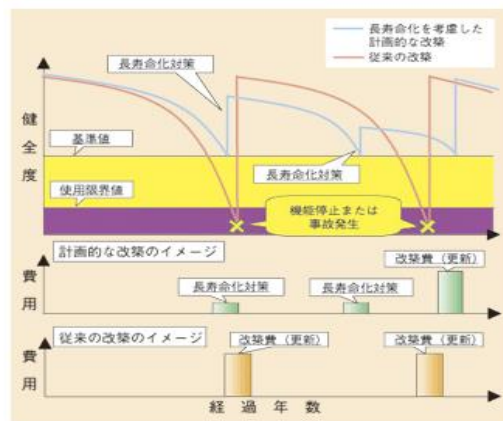
⑤ 長寿命化の実施方針

厳しい財政状況が想定される中、今後も利用が見込まれる既存施設については、適切な長寿命化を図ることが重要です。上述の①点検・診断等の実施方針に沿い、点検・保守・修繕、清掃・廃棄物管理を計画的にきめ細かく行い、公共施設等を健康な状況に保ち、更に定期的に施設診断を行い、小規模改修工事を行って不具合箇所を是正するといった、一連の予防保全によって、公共施設等の長期使用を図ります。また、長寿命化を考慮した計画的な改築を行うことで、施設等の機能停止や事故発生を防ぎ、ライフサイクルコストの低減を図ります。

図表 47 ライフサイクルコストと低減のイメージ



(出所)国土交通省ホームページ

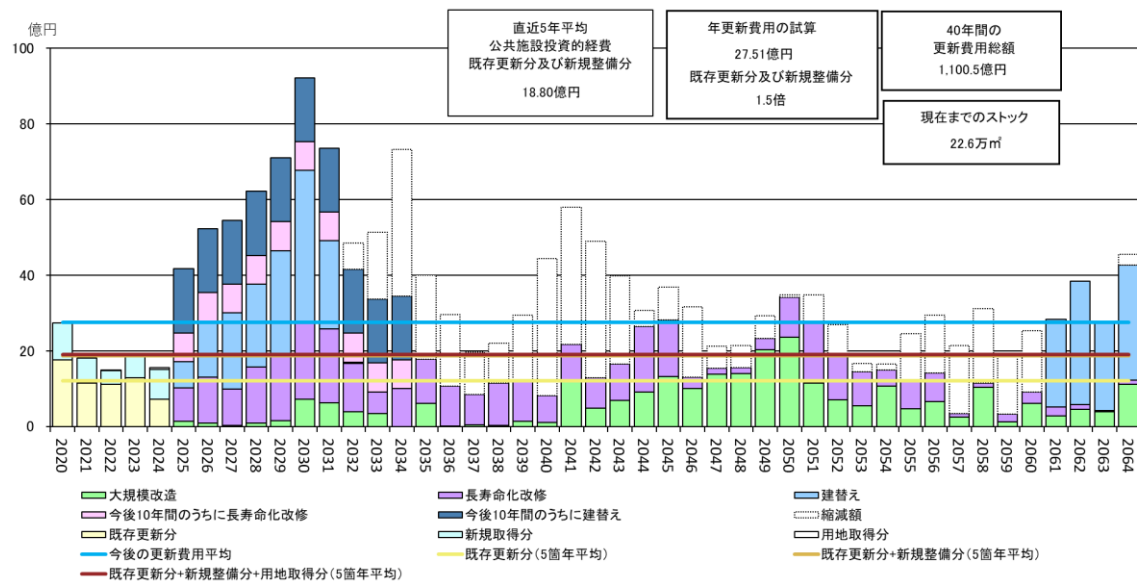


低減のイメージ図

3. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

また、予防保全による長寿命化改修等に取り組むと仮定し、大規模改修を建築後 20 年、60年とし、更新周期を60年から80年に延ばした更新費用は、1,100 億円となり、年平均更新費用は約 27.5 億円となります。しかしながら直近5か年の平均投資額の約 1.5 倍の費用が毎年必要となる試算結果となり、長寿命化の効果を検討しても、複合化、集約化、廃止等により縮減する必要があります。

図表 48 長寿命化時の更新費用試算結果



図表 49 今後 10 年間の公共施設等の維持管理・更新等に係る経費の見込み

	維持管理・修繕(①)	改修(②)	更新等(③)	合計(④) (①+②+③)	耐用年数経過時に 単純更新した場合 (⑤)	長寿命化対策等の 効果額(④-⑤)	現在要している経費 (過去5年平均)
建築物(a)	7,584	15,741	32,375	55,699	51,177	4,523	1,906
インフラ施設(b)				32,102	32,102	0	1,387
計(a+b)				87,802	83,279	4,523	3,293

(百万円)

3. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

⑥ ユニバーサルデザイン化の推進方針

まちづくりとの整合性を保ちつつ、災害対策や環境への影響を配慮した省エネ化や誰もが利用しやすい施設となるようバリアフリー化¹・ユニバーサルデザイン化²を推進します。

⑦ 脱炭素化の推進方針

臼杵市地球温暖化実行計画(令和6年3月策定)に沿って、施策の基本方針等をもとに公共施設の省エネ、ZEB³化、再エネ導入等を検討、推進します。

⑧ 統合や廃止の推進方針

公共施設等の利用状況や老朽度等を踏まえ、公共施設等の統合や廃止等の方向性を検討します。方向性の検討にあたっては、単に施設(ハード)の必要性の有無だけで判断するのではなく、施設(ハード)を使用して提供しているサービス(ソフト)の必要性や手法等とあわせて検討を行う必要があります。本市では、行政評価(事務事業評価、施策評価)を実施し、サービス(ソフト)について不断の見直しを行っていることから、これらの評価結果と、施設の状態を勘案して、臼杵市公有財産利活用等検討委員会にて協議等をした上で、統合や廃止等の方向性を検討することとします。財源としては、国が推進する除却債や、公共施設等適正管理推進事業(公共施設の集約化・複合化、長寿命化等に関する財源措置等)の利用、PPP/PFI 制度の活用等を検討し、出口戦略の検討にあたっては、複数の財務シミュレーションを実施することで、施設配置の最適化を図ります。

⑨ 保有する財産(未利用資産等)の活用や処分に関する基本方針

保有する財産の状況を把握し、臼杵市公有財産利活用等検討委員会等にて協議を行い、売却や貸付、統合や廃止等の様々な活用の方向性を検討します。

とくに未利用資産等については、積極的な民間等への売却や貸付を行い、有効的な活用を推進します。また、財産の状況に応じて、地域振興、定住促進、雇用促進等につながる利活用の検討・推進を図ります。

¹ バリアフリーとは、高齢者、障害者などが社会生活をしていく上での、物理的・社会的・制度的・心理的な障壁(バリア)など、全ての障壁を除去(フリー)するという考え方のこと。

² ユニバーサルデザインとは、障害の有無、年齢、性別などに関係なく、全ての人が利用しやすいようにはじめから障壁がない製品・建物・環境などを作ろうとする考え方のこと。

³ ZEB(ネット ゼロ エネルギー ビルディング)とはエネルギー収支をゼロ以下にするビルのこと、建物で使用するエネルギーと太陽光発電などで創出するエネルギーをバランスして、年間で消費するエネルギーの量を実質的にゼロ以下にするもの。

3. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

⑩ 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

本市の公共施設等の総合的かつ計画的な管理は、情報の取りまとめや公共施設等総合管理計画の策定を所管する財務経営課だけが行うのではなく、各施設等の所管部署も連携協力し全庁的に推進します。なお、総合的かつ計画的な管理を実現するために、以下の点に留意することとします。

(ア)職員の巻き込み

各職員に当事者意識を持って臨んでもらうために、公共施設等総合管理計画策定の背景や意義、各職員が把握しておくべき内容等についての研修を行い、公共施設等マネジメントのあり方、経営的視点に立った施設の管理運営、予防保全的な維持管理、コスト感覚といった観点に対する意識の向上に努めます。

(イ)議会や住民との情報共有

公共施設等の配置やこれを用いた行政サービスの提供は、まちづくりのあり方に関わるものであることから、議会や住民への十分な情報提供等を行うよう努めます。特に、個別施設の老朽化対策等を行う事業実施段階では、議会や住民に対して十分な説明や意見交換の機会を設け、合意形成を図った上で事業を実施します。

(ウ)PPP/PFIの活用検討

公共施設等の更新などに際しては、民間の技術・ノウハウ・資金等を活用することが有効な場合もあることから、必要に応じてPPP/PFIの利用を推進します。

また、PPP/PFIを推進するためには、積極的な情報提供・公開が肝要であることから、必要に応じて公共施設等に関する現況情報など、広く情報提供・公開に努めます。

(エ)地方公会計制度との連携

統一的な基準による財務書類等の作成にあたっては、固定資産台帳を整備・更新し補助簿として活用することが求められますが、この固定資産台帳の整備・更新に際して得た固定資産に関する諸情報を、公共施設等の管理運営に役立て、公共施設等マネジメントと地方公会計制度を一体で推進することとします。

3. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

(6) 計画期間における床面積等に関する目標

本計画における前期の目標は「公共施設(建築物)の施設総量(床面積換算)を10%の削減」としていましたが、計画策定時、2015(平成27)年度末時点で222,996㎡であった総延床面積は(令和7)年末時点では235,353㎡となり、5%の増加となりました。

これは防災拠点施設である市浜地区コミュニティセンターを新設したこと、大分県より廃校となっていた旧臼杵商業高等学校(現 臼杵市社会基盤整備・災害支援センター)及び旧野津高等学校(現 臼杵市多世代交流館【のつてらす】等)を取得したことが主な増加要因となっています。また、同時に人口減少が進行したことから、臼杵市の人口1人あたりの施設保有延床面積も増加となりました。

以上を踏まえ、本計画期間(今後10年間)においても公共施設(建築物)の施設総量(床面積換算)を10%縮減することを目標とし、将来の人口動向を考慮した床面積の縮減と、施設の複合・集約化、長寿命化等を積極的に検討・推進していきます。

なお、公共建築物の更新にあたり、危機管理等、政策上必要な重要建築物や民間活力(PPP/PFIなど)の導入など事業手法の創意工夫等により、同等ないしそれ以上の財政負担軽減が見込める場合は、延床面積の縮減が目標値に満たない場合でも、それが適切な最適化にあたると思われれます。

図表 50 施設保有量の推移(再掲)

2015 (平成27年)	2017 (平成29年)	2019 (令和元年)	2021 (令和3年)	2023 (令和5年)	2025 (令和7年)
222,996㎡	234,500㎡	242,828㎡	237,427㎡	236,471㎡	235,353㎡

図表 51 1人あたりの施設保有量の推移

2015 (平成27年)	2017 (平成29年)	2019 (令和元年)	2021 (令和3年)	2023 (令和5年)	2025 (令和7年)
5.53	5.98	6.37	6.45	6.64	6.88

3. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

(7) フォローアップの実施方針

公共施設等総合管理計画は、本市の行財政改革ツールのひとつとして位置づけられません。公共施設等の点検・診断等や固定資産台帳の整備・更新を通じて得られた公共施設等に関する情報・評価等は一元的に収集・管理します。特に将来更新費用のシミュレーションは試算にあたり、より精緻なデータが得られ次第、再度試算を行うこととするなど、計画にPDCAサイクルを取り入れ、適時改訂を検討します。

個別に更新等の必要が生じた施設等については、長寿命化や更新計画等を作成し、施設等所管部署と財務経営課で適宜進捗管理や見直しを行い、臼杵市公有財産利活用等検討委員会にて検討の上、継続的な取組を行います。毎年度作成するバランスシートは議会へ報告し、固定資産台帳を参考資料とした上で、施設等の老朽状況についての説明を行います。

公共施設等に関する計画や更新、関連する情報は、市ホームページ等を利用して広く公開し、市民等から得られた意見などは必要に応じて検討し、計画に反映させることとし、フォローアップを図ることとします。

図表 52 フォローアップの例示(PDCAサイクルの考え方)



(出所)第3次臼杵市総合計画

4. 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

ここでは、前述の 3.公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針を踏まえて、施設類型ごとの管理に関する基本的な方針を整理します。なお、以下で整理している施設類型ごとの施設一覧は、公共施設等総合管理計画の改訂にあたり、各施設の基礎的な情報を収集するために、2025(令和7)年度に実施したデータ調査結果です。

今後も、施設類型ごとの管理に関する基本的な方針を踏まえるとともに、投資的経費の増加や人口減少など各施設を取り巻く状況を勘案しながら、各年度において行う『中期財政計画』、『公共施設整備5ヵ年計画』、『予算編成』、『臼杵市公有財産利活用等検討委員会』などにおいて検討検証を行いながら各施設の効率的・効果的な運用を推進していきます。



臼杵市多世代交流館(のつてらす) 令和7年オープン



臼杵市社会基盤整備・災害支援センター

(1)市民文化系施設

① 対象施設

(ア)集会施設【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(m ²)	経過年数	～20	～30	～40	41～
下北地区コミュニティセンター	木造	2024年	365.73	1				
下南地区コミュニティセンター	木造	2021年	277.06	5				
野津市民交流センター(ゆるる)	鉄骨造	2020年	543.48	5				
南津留地区コミュニティセンター	木造	2017年	244.57	8				
臼杵市防災拠点施設・市浜地区コミュニティセンター 物置	鉄筋コンクリート	2015年	50.00	10				
臼杵市防災拠点施設・市浜地区コミュニティセンター	鉄筋コンクリート	2015年	975.88	10				
上北地区コミュニティセンター	木造	2009年	337.86	17				
下ノ江地区コミュニティセンター	木造	2006年	251.84	20				
泊ヶ内ふれあいコミュニティセンター	木造	2005年	148.00	21				
風成地域ふれあい交流館	木造	2001年	239.00	24				
佐志生ふれあいセンター	木造	2000年	326.38	26				
泊観光トイレ(旧泊地区交流促進施設)	木造	1997年	51.00	28				
佐志生地区農村環境センター	鉄筋コンクリート	1997年	571.40	29				
田野地区コミュニティセンター	鉄筋コンクリート	1995年	450.00	31				
久木小野多目的研修集会所	木造	1994年	65.00	32				
吉田集会所	木造	1994年	68.00	32				
海辺地区コミュニティセンター 調理実習室	木造	1993年	77.00	32				
都松地区ふれあいセンター エゴマ搾油所	木造	1992年	38.00	33				
西神野ふれあいセンター(旧西神野小体育館)	鉄骨造	1992年	400.00	34				
上浦・深江地区コミュニティセンター	鉄筋コンクリート	1992年	527.00	34				
左津留林業研修集会所	木造	1991年	225.00	35				
高山林業研修集会所	木造	1991年	257.00	35				
中臼杵農村環境改善センター	鉄筋コンクリート	1991年	599.00	35				
戸上ふれあい広場(旧戸上小学校)	木造	1991年	250.00	35				
野津地区コミュニティセンター	鉄骨鉄筋コンクリート	1990年	688.72	36				
久木小野公民館	木造	1989年	146.00	37				
都松地区ふれあいセンター(旧都松小特別教室棟)	木造	1988年	305.00	38				
臼杵市野津ニューライフ作業所	鉄骨造	1988年	79.00	38				
川登地区コミュニティセンター	鉄骨鉄筋コンクリート	1985年	349.99	41				
柿の浦公民館	鉄筋コンクリート	1984年	108.00	42				
西神野ふれあいセンター(旧西神野小)	鉄筋コンクリート	1984年	600.00	42				
戸上ふれあい広場(旧戸上幼稚園)	鉄骨造	1982年	180.00	43				
臼杵市戸室台集会所	木造	1981年	120.40	45				
南野津地区コミュニティセンター	鉄骨鉄筋コンクリート	1981年	450.00	45				
野田多目的研修集会所	鉄骨造	1978年	177.00	48				
旧佐志生連絡事務所	鉄骨造	1978年	119.00	48				
海辺地区コミュニティセンター	鉄骨造	1978年	219.50	48				
松ヶ岳地区公民館	鉄骨造	1977年	248.00	48				
旧下北連絡事務所	鉄骨造	1975年	108.00	50				
西神野ふれあいセンター(旧西神野小倉庫)	鉄骨造	1970年	13.00	55				

(イ)文化施設【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(m ²)	経過年数	～20	～30	～40	41～
臼杵市野津中央公民館 楽屋	鉄骨鉄筋コンクリート	1998年	142.00	28				
臼杵市民会館	鉄骨鉄筋コンクリート	1992年	4,206.00	34				
臼杵市野津中央公民館	鉄骨鉄筋コンクリート	1985年	2,474.00	40				
祇園祭山車保存庫	木造	1983年	180.00	43				
臼杵市中央公民館	鉄筋コンクリート	1979年	2,816.00	46				

② 現状や課題に関する基本認識

集会施設及び文化施設は、地域活動の場として地元住民に使用されています。
集会所施設はそれぞれ、管理・運営方法が異なっているものもあり、今後の管理・運営方法等の検討が必要です。

③ 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

集会施設の管理・運営方法については、地域で担うなど効率的かつ効果的な管理・運営方法を検討します。文化施設は、講座やイベントなどについて、行政が提供する必要性を検討するとともに、より一層質の高いサービスを提供するため NPO や民間団体、民間委託を検討します。



下北地区コミュニティセンター(令和6年建築)



臼杵市中央公民館（平成28～30年大規模改修）



野津中央公民館



野津庁舎と併設された臼杵市野津市民交流センター(令和2年建築)

(2)社会教育系施設

① 対象施設

(ア)図書館【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(m ²)	経過年数	～20	～30	～40	41～
臼杵図書館(本館)	鉄筋コンクリート	1970年	668.30	55				
臼杵図書館(書庫)	コンクリートブロック	1918年	148.50	107				
荘田平五郎記念こども図書館	木造	1918年	393.20	107				

(イ)博物館等【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(m ²)	経過年数	～20	～30	～40	41～
臼杵城跡 大門櫓	木造	2001年	31.00	24				
臼杵市歴史資料館 付属棟	木造	1998年	64.00	27				
臼杵市歴史資料館	鉄筋コンクリート	1998年	850.00	27				
吉丸一昌記念館「早春賦の館」	木造	1995年	150.00	31				
臼杵磨崖仏 古園石仏覆屋	鉄骨造	1994年	115.24	32				
直良信次生家	木造	1993年	83.00	33				
臼杵磨崖仏 ホキ石仏第1群覆屋	鉄骨造	1992年	70.28	34				
旧平井家住宅	木造	1990年	306.32	36				
臼杵磨崖仏 ホキ石仏第2群覆屋	鉄骨造	1989年	141.60	37				
旧丸毛家住宅 付属屋(旧物置)	木造	1988年	13.22	37				
旧丸毛家住宅 主屋	木造	1988年	204.95	37				
臼杵市文化財管理センター 埋蔵文化財収蔵庫	鉄筋コンクリート	1985年	210.00	41				
臼杵市文化財管理センター	鉄筋コンクリート	1985年	1,503.00	41				
臼杵磨崖仏 山王山石仏覆屋	鉄骨造	1982年	21.75	44				
備後尾五輪塔覆屋	木造	1981年	6.88	44				
臼杵城跡 豊櫓	木造	不明	70.00	-				
臼杵城跡 卯寅口門櫓	木造	不明	90.00	-				

② 現状や課題に関する基本認識

図書館及び博物館等について、各施設の適切な維持管理・運営を効果的に行うことが課題となっています。

③ 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

図書館は、指定管理制度の導入や一括管理など民間活力の導入を含めて、効率的かつ効果的な管理・運営方法を検討します。また、市民に親しまれる施設として、より一層の利用促進に努めます。博物館等は、臼杵市歴史資料館をはじめとして臼杵市が所蔵する資料を広く紹介する施設や臼杵の歴史を伝える施設でもあるため、今後も引き続き、臼杵市の財産として行政が管理・運営します。



臼杵市歴史資料館



臼杵図書館

(3)スポーツ・レクリエーション系施設

① 対象施設

(ア)スポーツ施設【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(m ²)	経過年数	～20	～30	～40	41～
パークゴルフ場管理棟	木造	2024年	149.06	2				
臼杵市民球場	鉄筋コンクリート	1996年	1,787.00	30				
臼杵市柔剣道場	鉄筋コンクリート	1985年	699.17	41				
臼杵市弓道場	鉄骨造	1982年	111.00	44				
臼杵市諏訪山体育館	鉄筋コンクリート	1982年	1,990.74	44				

(イ)レクリエーション・観光施設【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(m ²)	経過年数	～20	～30	～40	41～
臼杵市総合公園 こどもトイレ	木造	2022年	60.93	4				
おためしハウス「ほっとさんの家」	木造	2020年	100.17	6				
臼杵駅観光案内所	木造	2018年	4.62	7				
吉四六の家	木造	2016年	99.47	10				
臼杵市観光交流プラザ	鉄筋コンクリート	2014年	1,054.74	12				
臼杵市総合公園 クラブハウス(トイレ)	鉄筋コンクリート	2012年	52.50	13				
臼杵市総合公園 多目的広場横用具倉庫	軽量鉄骨造	2009年	34.80	17				
臼杵市総合公園 多目的広場横ポンプ室	鉄筋コンクリート	2008年	35.00	17				
臼杵市総合公園 多目的広場横トイレ	鉄筋コンクリート	2008年	37.60	17				
臼杵市総合公園 第一駐車場トイレ	木造	2008年	49.00	18				
臼杵市総合公園 東屋	木造	2002年	27.40	24				
臼杵市総合公園 東屋	木造	2002年	27.40	24				
片町の蔵 多目的棟	木造	2002年	38.88	24				
片町の蔵	木造	2002年	95.30	24				
臼杵市総合公園 子供広場トイレ	鉄筋コンクリート	2000年	32.04	26				
臼杵市総合公園 東屋	木造	1999年	27.40	27				
臼杵市総合公園 東屋	木造	1999年	27.40	27				
臼杵市総合公園 東屋	木造	1999年	27.40	27				
臼杵市総合公園 展望台東屋	鉄筋コンクリート	1997年	32.00	28				
臼杵市総合公園 展望台	木造	1997年	43.00	28				
久家の大蔵	木造	1997年	204.95	29				
旧真光寺	木造	1993年	276.00	33				
旧臼杵藩主稲葉家下屋敷(土蔵)	コンクリートブロック	1990年	39.00	36				
旧臼杵藩主稲葉家下屋敷(西の棟・大西の棟)	木造	1990年	90.00	36				
旧臼杵藩主稲葉家下屋敷(本棟)	木造	1990年	568.00	36				
臼杵市野津吉四六ランド 運動広場 倉庫 屋外ステージ	鉄筋コンクリート	1984年	154.00	41				
石仏観光会館	木造	1984年	246.00	42				
臼杵市野津吉四六ランド 運動広場 倉庫	コンクリートブロック	1983年	22.12	42				
臼杵市野津吉四六ランド 運動広場 野球場管理事務所	鉄骨鉄筋コンクリート	1983年	312.00	43				
臼杵市野津吉四六ランド 運動広場 球場(ダックアウト 2箇所)	鉄筋コンクリート	1983年	55.20	43				
臼杵市野津吉四六ランド 吉四六公園 管理棟	鉄筋コンクリート	1983年	367.20	43				
臼杵市野津吉四六ランド 運動広場 トイレ(倉庫横)	鉄筋コンクリート	1982年	9.75	44				
臼杵市野津吉四六ランド 運動広場 トイレ(グラウンド分)	鉄筋コンクリート	1982年	18.90	44				

② 現状や課題に関する基本認識

スポーツ施設及びレクリエーション・観光施設について、主な施設の管理・運営は指定管理者制度を導入しています。老朽化が進んでいる施設もあるので、適切な維持管理・運営を効果的に行っていくことが課題となっています。

③ 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

スポーツ施設は、各施設の有効活用を推進するだけでなく、ネーミングライツの導入や計画的な整備・補修を継続し、今後の維持管理費の効率化を検討します。

レクリエーション施設は、より多くの市民が利用できるサービスの提供や効果的な施設の管理・運営を検討し、必要に応じてサービス内容などの見直しを行います。



白杵市諏訪山体育館(令和2年大規模改修)



白杵市観光交流プラザ



白杵市総合運動公園子ども広場こどもトイレ(令和4年建築)

※第19回キッズデザイン賞 審査員長特別賞
※おおいた木の良さを生かした建築賞入賞



白杵市パークゴルフ場管理棟(令和6年建築)

(4)産業系施設

① 対象施設

(ア)産業系施設【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(m ²)	経過年数	～20	～30	～40	41～
アグリ起業学校 農機具庫	軽量鉄骨造	2016年	26.80	10				
臼杵市土づくりセンター	鉄骨鉄筋コンクリート	2010年	4,588.00	15				
サーラ・デ・うすき	木造	2003年	483.00	23				
サーラ・デ・うすき(旧ふれあい情報センター)	木造	2001年	375.00	25				
旧野津高校 福祉実習棟	鉄筋コンクリート	1997年	891.50	29				
臼杵市ほんまもんの里農業推進センター	鉄筋コンクリート	1997年	1,400.00	29				
旧野津高校 校長宿舍	木造	1996年	80.56	30				
臼津地域シルバー人材センター	鉄骨造	1995年	272.00	31				
臼杵市農産加工所	木造	1992年	129.00	34				
旧都松幼稚園 倉庫	鉄骨造	1990年	9.00	36				
旧野津高校 プール更衣室等	コンクリートブロック	1985年	77.64	41				
旧都松幼稚園 園舎	鉄骨造	1982年	180.00	44				
林業振興センター	鉄骨鉄筋コンクリート	1977年	581.75	49				
アグリ宿舍(旧野津高校 教職員住宅)	鉄筋コンクリート	1974年	99.48	52				
臼杵市多世代交流館(のつてらす)	鉄筋コンクリート	1966年	1,751.20	60				

② 現状や課題に関する基本認識

臼杵市土づくりセンターは指定管理者制度を導入し、効率的な運営を図っています。
 サーラ・デ・うすきは「居間」としての「憩い」「集い」に加え、「臼杵の台所」としての「食の情報発信・継承」「チャレンジ」をテーマとした施設となっています。
 旧野津高校を整備し、臼杵市多世代交流館(のつてらす)を設置しました。

③ 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

中心市街地の賑わい創出施設であるサーラ・デ・うすきについては、臼杵市観光交流プラザや商店街との連携し、交流人口の増加につなげていきます。
 臼杵市多世代交流館は農業振興や地域住民の交流、交流人口の創出等を目的に、幅広い世代が集まり、楽しめる拠点施設として運営していきます。
 産業系施設の各施設について、より一層の有効活用の可能性を検討するとともに、効率的かつ効果的な管理・運営方法を検討します。



臼杵市多世代交流館(のつてらす)



サーラ・デ・うすき

(5) 学校教育系施設

① 対象施設

(ア) 小学校【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(m ²)	経過年数	～20	～30	～40	41～
下南小学校 屋外体育倉庫	鉄骨造	2024年	34.00	2				
野津小学校 図書室増築	鉄筋コンクリート	2018年	92.67	8				
福良ヶ丘小学校 管理教室棟	鉄筋コンクリート	2015年	2,213.00	10				
福良ヶ丘小学校 体育倉庫	鉄筋コンクリート	2015年	20.00	10				
福良ヶ丘小学校 特別教室A棟	鉄筋コンクリート	2016年	948.00	10				
福良ヶ丘小学校 特別教室B棟	鉄筋コンクリート	2016年	466.00	10				
福良ヶ丘小学校 防災倉庫	鉄筋コンクリート	2015年	84.00	10				
海辺小学校 体育倉庫	鉄骨造	2011年	52.00	14				
野津小学校 倉庫	鉄骨造	2012年	6.45	14				
海辺小学校 屋外トイレ	コンクリートブロック	2011年	3.03	15				
臼杵小学校 通路	鉄骨造	2000年	42.00	25				
佐志生小学校 通路	鉄骨造	2000年	24.00	25				
市浜小学校 通路	鉄筋コンクリート	2000年	27.00	25				
下ノ江小学校 特別教室棟	鉄筋コンクリート	1996年	350.00	30				
川登小学校 管理教室棟	鉄筋コンクリート	1995年	1,759.00	31				
下北小学校 プール附属施設	鉄筋コンクリート	1994年	65.00	32				
上北小学校 専用食堂	鉄筋コンクリート	1994年	237.00	32				
上北小学校 体育倉庫	鉄骨造	1994年	20.00	32				
臼杵小学校 倉庫	木造	1992年	22.00	33				
野津小学校 多目的棟	鉄骨造	1993年	280.00	33				
臼杵小学校 校舎(管理教室棟)	鉄筋コンクリート	1991年	2,429.00	35				
臼杵小学校 配膳室	鉄筋コンクリート	1991年	125.00	35				
佐志生小学校 校舎(管理教室棟)	鉄筋コンクリート	1990年	1,034.00	36				
佐志生小学校 校舎(教室棟)	鉄筋コンクリート	1990年	902.00	36				
佐志生小学校 専用食堂	鉄筋コンクリート	1990年	80.00	36				
上北小学校 特別教室棟	鉄筋コンクリート	1990年	228.00	36				
南野津小学校 特別教室棟	鉄筋コンクリート	1990年	236.00	36				
下北小学校 家庭科室	鉄筋コンクリート	1988年	100.00	37				
市浜小学校 校舎(管理教室棟)	鉄筋コンクリート	1989年	1,065.00	37				
市浜小学校 専用食堂	鉄骨造	1989年	150.00	37				
下北小学校 屋内運動場	鉄骨造	1987年	890.00	38				
佐志生小学校 屋内運動場	鉄骨造	1988年	720.00	38				
市浜小学校 校舎(管理教室棟)	鉄筋コンクリート	1988年	581.00	38				
市浜小学校 校舎(教室棟)	鉄筋コンクリート	1988年	1,557.00	38				
市浜小学校 通路	鉄筋コンクリート	1988年	47.00	38				
上北小学校 屋内運動場	鉄筋コンクリート	1986年	675.00	39				
上北小学校 体育倉庫	鉄骨造	1987年	27.00	39				
南野津小学校 倉庫	鉄骨造	1987年	36.00	39				
海辺小学校 校舎(管理教室棟)	鉄筋コンクリート	1986年	2,177.00	40				
海辺小学校(配膳室)	鉄筋コンクリート	1986年	100.00	40				
川登小学校 倉庫	鉄骨造	1986年	89.00	40				
臼杵小学校 トイレ	鉄筋コンクリート	1985年	33.00	41				
臼杵南小学校 屋内運動場	鉄筋コンクリート	1984年	527.00	41				
臼杵南小学校 校舎(ランチルーム)	鉄筋コンクリート	1984年	230.00	42				
臼杵南小学校 校舎(管理教室棟)	鉄筋コンクリート	1984年	1,677.00	42				
上北小学校 職員トイレ	鉄骨造	1983年	5.00	42				
下ノ江小学校 専用食堂	鉄骨造	1983年	85.00	43				
野津小学校 倉庫	鉄骨造	1982年	41.00	43				
下ノ江小学校 屋内運動場	鉄骨造	1982年	527.00	44				
下南小学校 校舎(管理教室棟)	鉄筋コンクリート	1981年	1,642.00	44				
下南小学校 校舎(教室棟)	鉄筋コンクリート	1981年	1,006.00	44				
下南小学校 昇降口	鉄筋コンクリート	1981年	117.00	44				
下南小学校 専用食堂	鉄筋コンクリート	1981年	108.00	44				
佐志生小学校 プール附属施設	鉄筋コンクリート	1981年	46.00	44				
野津小学校 屋内運動場	鉄骨造	1982年	680.00	44				
川登小学校 倉庫	鉄骨造	1981年	29.00	45				
南野津小学校 倉庫	鉄骨造	1981年	36.00	45				
福良ヶ丘小学校 屋内運動場	鉄筋コンクリート	1981年	631.00	45				
野津小学校 校舎(管理教室棟2)	鉄筋コンクリート	1980年	1,210.00	45				

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(㎡)	経過年数	～20	～30	～40	41～
市浜小学校 校舎(教室棟)	鉄筋コンクリート	1979年	1,348.00	46				
野津小学校 校舎(管理教室棟1)	鉄筋コンクリート	1980年	1,782.00	46				
下北小学校 教室棟	鉄筋コンクリート	1979年	356.00	47				
海辺小学校 プール付属施設	鉄筋コンクリート	1979年	48.00	47				
川登小学校 屋内運動場	鉄骨造	1979年	532.00	47				
下南小学校 屋内運動場	鉄筋コンクリート	1978年	527.00	48				
南野津小学校 屋内運動場	鉄骨造	1978年	500.00	48				
海辺小学校 屋内運動場	鉄筋コンクリート	1976年	527.00	50				
市浜小学校 屋内運動場	鉄骨造	1975年	612.00	51				
下北小学校 管理教室棟	鉄筋コンクリート	1973年	1,384.00	53				
南野津小学校 管理教室棟	鉄筋コンクリート	1972年	1,357.00	53				
臼杵小学校 プール附属施設	鉄骨造	1971年	6.00	54				
臼杵小学校 倉庫	鉄骨造	1971年	20.00	54				
下ノ江小学校 校舎(管理、教室棟)	鉄筋コンクリート	1972年	1,112.00	54				
臼杵小学校 屋内運動場	鉄骨造	1970年	612.00	56				
臼杵小学校 校舎(教室棟)	鉄筋コンクリート	1968年	1,223.00	57				
下北小学校 倉庫	木造	1963年	27.00	63				
上北小学校 管理教室棟	鉄筋コンクリート	1955年	1,166.00	71				

(イ)中学校【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(㎡)	経過年数	～20	～30	～40	41～
西中学校 陸上部倉庫	軽量鉄骨造	2019年	8.28	6				
野津中学校 校舎(管理教室棟)	鉄筋コンクリート	2011年	4,541.00	14				
野津中学校 屋内運動場	鉄筋コンクリート	2011年	1,308.00	15				
北中学校 屋内運動場	鉄筋コンクリート	2001年	1,455.00	24				
南中学校 配膳室	鉄筋コンクリート	2000年	31.00	25				
北中学校 校舎(特別棟)	鉄筋コンクリート	1998年	120.00	27				
北中学校 校舎(特別棟)	鉄筋コンクリート	1998年	722.00	27				
北中学校 校舎(教室棟)	鉄筋コンクリート	1998年	1,331.00	27				
北中学校 校舎(特別教室棟)	鉄筋コンクリート	1998年	1,877.00	27				
北中学校 武道場	鉄筋コンクリート	1998年	240.00	28				
東中学校 屋内運動場	鉄筋コンクリート	1997年	1,230.00	29				
西中学校 屋内運動場	鉄筋コンクリート	1995年	1,230.00	31				
西中学校 校舎(特別教室棟)	鉄筋コンクリート	1993年	500.00	33				
南中学校 校舎(技術室)	鉄筋コンクリート	1992年	110.00	34				
野津中学校 柔剣道場	鉄骨造	1987年	500.00	38				
北中学校 体育部室	鉄骨造	1985年	48.00	40				
南中学校 部室	鉄骨造	1983年	21.00	42				
南中学校 屋内運動場	鉄筋コンクリート	1982年	727.00	43				
東中学校 倉庫	鉄筋コンクリート	1982年	41.00	44				
東中学校 校舎(特別教室)	鉄筋コンクリート	1982年	1,916.00	44				
東中学校 校舎(管理棟)	鉄筋コンクリート	1981年	745.00	45				
東中学校 校舎(教室棟)	鉄筋コンクリート	1981年	1,578.00	45				
南中学校 校舎(管理特別教室棟)	鉄筋コンクリート	1979年	1,530.00	47				
西中学校 校舎(管理特別棟)	鉄筋コンクリート	1978年	1,676.00	48				
西中学校 校舎(教室棟)	鉄筋コンクリート	1977年	2,403.00	49				
野津中学校 プール専用付属室	鉄骨造	1974年	21.00	51				
野津中学校 部室	鉄骨造	1974年	160.00	52				
野津中学校(柔剣道場外トイレ)	鉄筋コンクリート	1972年	33.00	54				
西中学校 部室	鉄骨造	1969年	40.00	57				
東中学校 部室	コンクリートブロック	1969年	53.00	57				
東中学校 校舎(技術室)	鉄骨造	1965年	117.00	61				

(ウ)その他教育施設【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(m ²)	経過年数	～20	～30	～40	41～
臼杵市学校給食センター(休憩室)	コンクリートブロック	2006年	25.14	20				
臼杵市学校給食センター	鉄骨造	2000年	1,628.98	25				
旧戸上小学校 倉庫	鉄骨造	1994年	120.00	31				
旧宮本中学校 倉庫	木造	1994年	53.00	32				
旧戸上小学校 管理教室棟増築部分	鉄筋コンクリート	1991年	9.00	35				
旧宮本小学校 給食室	鉄筋コンクリート	1991年	50.00	35				
旧宮本小学校 体育館	鉄筋コンクリート	1991年	527.00	35				
旧宮本小学校 倉庫	木造	1990年	20.00	35				
旧都松小学校 管理教室棟(H2.3増築)	鉄骨造	1990年	9.00	36				
旧都松小学校 管理教室棟(H1.3増築)	鉄骨造	1989年	10.00	37				
中臼杵地域グラウンド体育倉庫	鉄筋コンクリート	1987年	20.00	39				
中臼杵地域体育館	鉄筋コンクリート	1985年	527.00	40				
旧都松小学校 トイレ	鉄筋コンクリート	1985年	18.00	40				
旧南野津小学校 出羽分校	鉄筋コンクリート	1985年	414.00	41				
旧都松小学校 倉庫	鉄骨造	1982年	34.00	43				
旧戸上小学校 体育倉庫	コンクリートブロック	1981年	29.00	45				
都松地域体育館	鉄骨造	1979年	371.00	47				
戸上地域体育館(旧戸上小学校体育館)	鉄骨造	1978年	400.00	47				
田野地域体育館	鉄骨造	1975年	400.00	50				
旧中臼杵小学校 プール付施設B	鉄筋コンクリート	1972年	6.00	53				
旧中臼杵小学校 プール付施設A	鉄筋コンクリート	1972年	37.00	53				
旧宮本小学校 玄関	鉄筋コンクリート	1972年	20.00	54				
旧宮本小学校 教室管理棟	鉄筋コンクリート	1972年	428.00	54				
旧戸上小学校 管理教室棟	鉄筋コンクリート	1970年	931.00	56				
旧宮本中学校 教室管理棟	鉄筋コンクリート	1969年	703.00	57				
旧都松小学校 管理教室棟	鉄筋コンクリート	1964年	662.00	61				

② 現状や課題に関する基本認識

学校教育施設は本市が保有する公共建築物の中で最も多く、保有量全体の約3割を占め、多くの施設で老朽化が進行しています。

③ 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

老朽化した施設が多いため、少子化の動向などを見極めながら、改修・修繕等における維持管理が必要です。

学校給食センターの建物や機械設備の老朽化が進む中、将来を見据えた給食センター整備の検討を行います。

学校施設跡地については、避難所としての利用など地域住民のニーズに応じた有効活用を検討します。

地域体育館は、利用実態、地域性を考慮して改修や廃止解体を検討します。

(6)子育て支援施設

① 対象施設

(ア)幼保・こども園【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(m ²)	経過年数	~20	~30	~40	41~
白杵市立下南こども園	鉄骨造	2020年	1,202.55	6				
旧白杵幼稚園 トイレ	木造	1954年	33.00	72				
旧白杵幼稚園 管理教室棟	木造	1950年	301.00	76				
旧白杵幼稚園 給食室	木造	1950年	31.00	76				
旧白杵幼稚園 倉庫	木造	1950年	20.00	76				
旧白杵幼稚園 倉庫	木造	1950年	27.00	76				
旧白杵幼稚園 遊戯室	木造	1954年	106.00	72				

(イ)幼児・児童施設【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(m ²)	経過年数	~20	~30	~40	41~
白杵市子ども・子育て総合支援センター(ちあぽーと)	鉄筋コンクリート	2015年	623.66	10				
下南地区児童クラブ	木造	2009年	97.47	17				
野津児童クラブ(旧野津小学校道場)	木造	2005年	364.00	21				
福良ヶ丘小児童クラブ	鉄筋コンクリート	1992年	100.00	34				
南野津児童クラブ(旧南野津幼稚園)	鉄骨造	1981年	230.00	45				
川登児童クラブ(旧川登幼稚園)	鉄骨造	1980年	180.00	46				

② 現状や課題に関する基本認識

幼保・こども園及び幼児・児童施設について、廃園となっている施設があります。妊娠期から18歳までの様々な相談にワンストップで対応し、切れ目のない支援を提供する拠点施設として、平成28年1月に子ども・子育て支援センター「ちあぽーと」を開設しています。

③ 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

児童数の推移や保護者ニーズを把握し、国の施策との連携も図りながら、より質の高いサービスの提供に向けて、各施設の今後の在り方を検討します。また、廃止となった施設については、用途変更等による有効活用を進めるとともに、安全面や老朽化の状況等から利用継続が困難な施設については、計画的に除却を行い、施設規模の適正化・縮減を図ります。



白杵市立下南こども園(令和2年建築)

(7)保健・福祉施設

① 対象施設

(ア)高齢者福祉施設【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(m ²)	経過年数	～20	～30	～40	41～
臼杵市安生寮 昇降路	鉄骨造	2018年	29.94	8				
温井老人憩の家	木造	2007年	187.72	19				
才原老人憩の家	木造	1998年	142.14	28				
戸室老人憩の家	木造	1995年	185.92	31				
野口老人憩の家	木造	1994年	123.64	32				
熊崎、本村、友田 老人憩の家	木造	1994年	147.53	32				
目明老人憩の家	木造	1994年	142.55	32				
門前老人憩の家	木造	1993年	120.03	33				
北海添老人憩の家	木造	1992年	153.18	34				
藤田老人憩の家	木造	1992年	160.55	34				
旧野津町老人憩の家(旧社協事務所)	鉄骨鉄筋コンクリート	1991年	180.00	35				
旧野津町デイサービスセンター	鉄骨鉄筋コンクリート	1991年	350.88	35				
四郎台老人憩の家	木造	1991年	110.10	35				
破磯老人憩の家	木造	1991年	122.29	35				
臼杵市安生寮	鉄骨鉄筋コンクリート	1991年	1,707.00	35				
大泊老人憩の家	木造	1990年	138.01	36				
日当老人憩の家	木造	1989年	110.13	37				
かじや、竹森老人憩の家	木造	1988年	143.00	37				
八熊老人憩の家	木造	1988年	112.60	38				
桑原老人憩の家	木造	1987年	147.05	38				
末広老人憩の家	木造	1986年	138.99	39				
揺懐老人憩の家	木造	1986年	127.17	40				
石上老人憩の家	木造	1985年	120.00	41				
荒瀬老人憩の家	木造	1985年	120.00	41				
海辺老人憩の家	木造	1984年	127.47	41				
乙見老人憩の家	木造	1982年	106.80	44				
臼杵市老人憩の家	木造	1975年	298.09	50				

(イ)障がい者福祉施設【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(m ²)	経過年数	～20	～30	～40	41～
障がい者交流センター すくらむ	木造	2004年	347.00	22				

(ウ)保健施設【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(m ²)	経過年数	～20	～30	～40	41～
野津地域ふれあい健康館	鉄骨造	2004年	310.45	22				
中央地域ふれあい交流館	鉄骨造	2003年	577.96	23				

② 現状や課題に関する基本認識

高齢者福祉施設、障がい者福祉施設及び保健施設の各施設について、一部を除き管理・運営は指定管理者制度を導入しています。

③ 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

高齢者福祉施設は、高齢化の進展に伴う需要を考慮しながら、各施設のあり方や効率的かつ効果的な管理・運営方法を検討します。

障がい者福祉施設は、障がい者の自立支援に必要な施設であり、利用者や相談者の需要を考慮しながら、効率的かつ効果的な施設利用やサービス提供を検討します。

(8)行政系施設

① 対象施設

(ア)庁舎等【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(㎡)	経過年数	～20	～30	～40	41～
白杵市役所野津庁舎 薪用倉庫	木造	2019年	7.00	7				
白杵市役所野津庁舎 資源物倉庫	軽量鉄骨造	2019年	3.53	7				
白杵ケーブルネットワーク施設野津サブセンター	鉄骨造	2019年	98.93	7				
白杵ケーブルネットワーク施設井村サブセンター	軽量鉄骨造	2014年	21.20	11				
白杵ケーブルネットワーク施設家野メインセンター	鉄筋コンクリート	2014年	158.00	12				
ケーブルネットワークセンター 放送センター	鉄骨造	2000年	529.56	25				
ケーブルネットワークセンター 受信点施設	コンクリートブロック	2000年	51.00	25				
社会基盤整備・災害支援センター 倉庫	鉄骨造	1995年	60.44	30				
白杵市役所野津庁舎	鉄筋コンクリート	1990年	1,451.86	36				
白杵市役所野津庁舎 公用車庫棟D棟	鉄骨鉄筋コンクリート	1982年	154.00	43				
白杵庁舎別館(旧ハローワーク)	鉄筋コンクリート	1981年	728.00	45				
社会基盤整備・災害支援センター 屋外トイレ	鉄骨造	1977年	13.50	48				
白杵市役所白杵庁舎	鉄筋コンクリート	1974年	6,445.00	51				
旧白杵商業高校 プール附属更衣室	コンクリートブロック	1973年	77.64	52				
社会基盤整備・災害支援センター 執務室棟北側	鉄筋コンクリート	1973年	900.00	53				
社会基盤整備・災害支援センター 執務室棟渡り廊下	鉄筋コンクリート	1973年	45.00	53				
社会基盤整備・災害支援センター 渡り廊下(北側)	鉄筋コンクリート	1970年	119.10	56				
社会基盤整備・災害支援センター 渡り廊下(西側)	鉄筋コンクリート	1969年	180.00	57				
社会基盤整備・災害支援センター 渡り廊下(東側)	鉄筋コンクリート	1967年	180.00	58				
社会基盤整備・災害支援センター 備蓄物資棟(東側)	鉄筋コンクリート	1967年	1,890.00	58				
社会基盤整備・災害支援センター 備蓄物資棟(西側)	鉄筋コンクリート	1967年	810.00	58				
社会基盤整備・災害支援センター 公文書棟(西側)	鉄筋コンクリート	1968年	945.00	58				
社会基盤整備・災害支援センター 公文書棟(東側)	鉄筋コンクリート	1968年	841.32	58				
社会基盤整備・災害支援センター 執務室棟東側	鉄筋コンクリート	1966年	988.05	60				
社会基盤整備・災害支援センター 執務室棟西側	鉄筋コンクリート	1966年	1,092.30	60				

(イ)消防施設【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(㎡)	経過年数	～20	～30	～40	41～
第9分団2部消防機械庫	木造	2025年	65.32	1				
第2分団1部 消防機械庫	木造	2024年	62.10	2				
第13分団3部消防機械庫	木造	2022年	65.32	4				
第3分団2部 消防機械庫・詰所	木造	2021年	57.55	5				
西中学校グラウンド 防災倉庫	軽量鉄骨造	2019年	21.16	6				
第5分団2部 消防機械庫	木造	2018年	57.55	7				
第4分団4部 消防機械庫	木造	2019年	57.55	7				
第9分団1部 消防機械庫	木造	2018年	45.45	8				
第2分団3部 消防機械庫	木造	2017年	63.04	9				
白杵市消防本部 災害対応車庫	軽量鉄骨造	2017年	78.05	9				
第12分団4部 消防機械庫	コンクリートブロック	2016年	60.06	10				
水ヶ城基地局	非木造	2015年	9.24	11				
第7分団3部 消防機械庫・詰所	鉄筋コンクリート	2014年	56.70	12				
第10分団第2部消防機械庫	鉄骨造	2014年	53.93	12				
白杵市消防本部 多目的グラウンド 備蓄倉庫	鉄筋コンクリート	2014年	22.79	12				
白杵市消防本部 多目的グラウンド トイレ	鉄筋コンクリート	2014年	22.79	12				
野津第4分団1部 消防機械庫	鉄筋コンクリート	2013年	48.00	13				
白杵市消防本部 消防庁舎	鉄筋コンクリート	2012年	2,738.20	13				
白杵市消防本部 車庫棟	鉄筋コンクリート	2012年	139.60	13				
白杵市消防本部 訓練棟	鉄筋コンクリート	2012年	94.70	13				
第5分団1部 消防機械庫・詰所	木造	2012年	55.05	14				
第3分団1部 消防機械庫	鉄筋コンクリート	2011年	36.00	15				
第1分団3部 消防機械庫・詰所	コンクリートブロック	2010年	56.00	16				
第4分団3部 消防機械庫・詰所	木造	2009年	59.28	17				
第14分団第1部消防機械庫詰所 増築	木造	2009年	28.80	17				
第11分団4部 消防機械庫・詰所	木造	2008年	56.00	18				
第10分団1部 消防機械庫・詰所	木造	2008年	32.00	18				
第11分団第5部消防機械庫詰所(増築)	木造	2007年	34.12	19				
白杵市消防署野津分署	鉄骨造	2007年	558.20	19				
第1分団 消防機械庫・詰所	鉄筋コンクリート	2006年	122.70	20				

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(㎡)	経過年数	～20	～30	～40	41～
第8分団第2部消防機械庫・詰所	鉄筋コンクリート	2003年	72.20	22				
第6分団 消防機械庫・詰所	鉄筋コンクリート	2004年	72.20	22				
第5分団福良地区消防団拠点施設	鉄筋コンクリート	2001年	75.60	24				
第3分団海添地区消防団拠点施設	鉄筋コンクリート	2001年	53.60	24				
第13分団1部 消防機械庫・詰所	コンクリートブロック	2001年	61.50	24				
第11分団6部乙見地区消防団拠点施設	鉄筋コンクリート	2000年	56.00	25				
第11分団8部高山地区コミュニティ消防センター	木造	2000年	53.50	26				
第2分団祇園洲地区コミュニティ消防センター	鉄筋コンクリート	1997年	60.00	29				
第15分団1部目明地区コミュニティ消防センター	鉄筋コンクリート	1997年	56.00	29				
第8分団第1部消防機械庫・詰所	鉄筋コンクリート	1996年	56.00	30				
旧9分団1部柿ノ浦地区コミュニティ消防センター	木造	1996年	56.00	30				
第12分団3部田尻地区コミュニティ消防センター	コンクリートブロック	1995年	56.00	31				
第4分団二王座地区コミュニティ消防センター	コンクリートブロック	1994年	56.00	32				
第15分団3部 消防機械庫・詰所	コンクリートブロック	1992年	56.00	33				
第11分団3部 消防機械庫	コンクリートブロック	1992年	28.00	33				
野津庁舎 防災倉庫(旧消防車庫)	鉄骨造	1992年	174.60	34				
第11分団第1部消防機械庫	コンクリートブロック	1988年	100.00	38				
旧第10分団2部 消防機械庫	コンクリートブロック	1985年	28.00	41				
第14分団3部 消防機械庫	コンクリートブロック	1983年	28.00	42				
旧第11分団6部 消防機械庫	コンクリートブロック	1983年	28.00	42				
第12分団1部 消防機械庫	コンクリートブロック	1982年	28.00	43				
第8分団3部 消防機械庫・詰所	コンクリートブロック	1982年	28.00	44				
第7分団5部 消防機械庫	コンクリートブロック	1981年	28.00	44				
第7分団2部 消防機械庫	鉄骨鉄筋コンクリート	1981年	65.12	44				
第15分団4部 消防機械庫・詰所	コンクリートブロック	1982年	60.50	44				
第15分団2部 消防機械庫・詰所	コンクリートブロック	1981年	43.15	44				
第14分団1部 消防機械庫・詰所	コンクリートブロック	1981年	27.90	44				
第12分団2部消防機械庫	コンクリートブロック	1981年	28.00	44				
第11分団2部 消防機械庫・詰所	コンクリートブロック	1982年	61.00	44				
第11分団7部 消防機械庫	コンクリートブロック	1981年	28.00	44				
第13分団2部 消防機械庫	コンクリートブロック	1980年	28.00	45				
第11分団5部 消防機械庫	コンクリートブロック	1980年	51.69	45				
第9分団1部 消防団員詰所	コンクリートブロック	1980年	28.00	46				
第7分団4部 消防詰所	コンクリートブロック	1979年	15.80	46				
第7分団4部 消防機械庫	コンクリートブロック	1979年	28.00	47				
第7分団1部 消防機械庫	コンクリートブロック	1978年	28.00	47				
旧第11分団7部 消防機械庫	コンクリートブロック	1978年	28.00	47				
第14分団2部 消防機械庫	コンクリートブロック	1977年	28.00	48				
旧第10分団第4部消防機械庫	コンクリートブロック	1972年	41.80	54				

(ウ)その他行政系施設

【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(㎡)	経過年数	～20	～30	～40	41～
白杵市社会基盤整備・災害支援センター 備蓄倉庫	鉄骨造	2022年	613.27	4				
白杵市総合公園 備蓄倉庫	鉄骨造	2014年	274.00	12				
白杵公園 備蓄倉庫	コンクリートブロック	2011年	32.00	14				
旧深江小学校 配膳室	鉄骨造	2000年	24.00	25				
白津あけぼの会跡	木造	1997年	30.00	29				
旧野津高校 部室	コンクリートブロック	1997年	65.78	29				
白杵市洲崎倉庫(竹宵倉庫)	鉄骨造	1994年	866.00	31				
白杵市地域生活相談センター	鉄骨造	1994年	131.00	32				
旧森林組合事務所	鉄筋コンクリート	1993年	180.00	33				
旧上浦小学校 特別教室棟	鉄筋コンクリート	1993年	849.00	33				
久木小野第二倉庫 一般棟	鉄骨造	1993年	82.10	33				
久木小野第二倉庫 農水環境衛生棟	鉄骨造	1993年	203.27	33				
旧田野小学校 特別教室棟	木造	1989年	260.00	37				
旧消防庁舎 自転車置場	鉄骨造	1989年	74.00	37				
旧深江中学校 休憩室	鉄骨造	1988年	2.00	37				
白杵公園 茶屋(詰所)	木造	1985年	33.00	41				
旧野津高校 部室	コンクリートブロック	1985年	40.00	41				
旧上浦小学校 プール・付属施設	鉄骨造	1984年	48.00	41				
旧上浦小学校 体育館	鉄骨造	1983年	527.00	42				
旧野津高校 トイレ	鉄筋コンクリート	1983年	13.50	42				
旧深江小学校 共有棟	鉄筋コンクリート	1983年	5.00	42				
旧消防庁舎 車庫	鉄骨造	1981年	74.00	44				
旧野津高校 柔剣道場	鉄骨造	1981年	400.40	45				

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(m ²)	経過年数	～20	～30	～40	41～
旧深江小学校 倉庫	木造	1980年	20.00	45				
旧西神野小学校 プール・附属施設	鉄骨造	1979年	10.00	46				
久木小野第一倉庫 A棟	鉄骨造	1979年	917.28	46				
旧葉たばこ収納所	鉄骨造	1977年	647.00	49				
旧上浦小学校 倉庫	鉄骨造	1976年	21.00	49				
旧田野小学校 プール	鉄骨造	1976年	13.00	49				
旧野津高校 体育館	鉄筋コンクリート	1975年	1,108.43	51				
旧深江中学校 教室管理棟	鉄筋コンクリート	1974年	908.00	52				
旧消防庁舎	鉄筋コンクリート	1974年	826.00	52				
旧田野小学校 倉庫	木造	1971年	33.00	54				
旧田野小学校 管理教室棟	鉄筋コンクリート	1971年	1,150.00	55				
旧深江小学校 食堂	鉄骨造	1969年	52.00	57				
旧深江小学校 管理教室棟	鉄筋コンクリート	1965年	960.00	60				
旧深江中学校 共有棟	鉄筋コンクリート	1965年	153.00	61				

② 現状や課題に関する基本認識

庁舎については経過年数が50年を超えていますが、耐震化は完了しています。
社会基盤整備・災害支援センターについては一部、老朽化しており、改修が必要です。

③ 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

庁舎等は、地域拠点、防災拠点となる重要な施設であることから、整備・維持管理・修繕・更新など総合的な観点から検討します。

消防施設は、今後の人口減少を踏まえて、分団の再編成を見据え、効率的かつ効果的な業務執行や各施設の維持管理・整備・運営など検討します。



白杵市役所白杵庁舎



白杵市役所野津庁舎

(9)公営住宅

① 対象施設

(ア)臼杵地域【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(m ²)	経過年数	～20	～30	～40	41～
市浜団地倉庫	軽量鉄骨造	2013年	30.50	12				
福良住宅 集会所	木造	2007年	32.49	18				
荒田住宅 あさぎ棟	鉄筋コンクリート	2002年	2,902.16	23				
荒田住宅 集会所	木造	2001年	181.03	25				
荒田住宅 もえぎ棟	鉄筋コンクリート	2000年	1,857.02	25				
荒田住宅 あかね棟	鉄筋コンクリート	1999年	2,789.10	27				
福良住宅	鉄筋コンクリート	1987年	1,095.61	39				
市浜住宅 84-2A-1	鉄筋コンクリート	1985年	1,178.01	41				
市浜住宅 84-1A-1	鉄筋コンクリート	1985年	1,632.00	41				
市浜住宅 83-2A-1	鉄筋コンクリート	1984年	1,178.10	42				
市浜住宅 83-1A-1	鉄筋コンクリート	1984年	1,224.00	42				
江無田住宅	鉄筋コンクリート	1983年	1,150.08	43				
市浜住宅 82-1A-1	鉄筋コンクリート	1983年	1,088.00	43				
諏訪住宅 81-2A-1	鉄筋コンクリート	1982年	1,635.00	44				
戸室住宅 UT55-2-3	コンクリートブロック	1981年	127.70	45				
戸室住宅 UT55-2-4	コンクリートブロック	1981年	127.70	45				
戸室住宅 UT55-2-5	コンクリートブロック	1981年	127.70	45				
諏訪住宅 80-2A-1	鉄筋コンクリート	1981年	1,613.52	45				
戸室住宅 UT54-2-2	コンクリートブロック	1980年	127.70	46				
戸室住宅 UT54-2-1	コンクリートブロック	1980年	127.70	46				
中市浜住宅	コンクリートブロック	1979年	127.80	47				
江無田2号団地	コンクリートブロック	1979年	127.70	47				
市浜住宅 50-2A-1	鉄筋コンクリート	1976年	863.82	50				
市浜住宅 49-2A-1	鉄筋コンクリート	1975年	870.72	51				
市浜住宅 48-2A-1	鉄筋コンクリート	1974年	789.86	52				
市浜住宅 集会所	鉄筋コンクリート	1974年	69.85	52				
市浜住宅 47-2A-1	鉄筋コンクリート	1973年	384.00	53				
下田住宅	コンクリートブロック	1961年	281.00	65				

(イ)野津地域【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(m ²)	経過年数	～20	～30	～40	41～
篠迫住宅 椿棟	鉄筋コンクリート	2014年	1,411.74	12				
篠迫住宅 桜棟	鉄筋コンクリート	2011年	1,255.17	14				
篠迫住宅 楓棟	鉄筋コンクリート	2009年	1,364.23	16				
篠迫住宅 集会所	木造	2009年	189.52	17				
原口H16住宅	鉄筋コンクリート	2004年	2,370.60	22				
戸上住宅 7-2A	鉄筋コンクリート	1997年	71.84	29				
戸上住宅 7-2B	鉄筋コンクリート	1997年	71.84	29				
戸上住宅 7-2C	鉄筋コンクリート	1997年	71.84	29				
戸上住宅 7-2D	鉄筋コンクリート	1997年	71.84	29				
戸上住宅 7-2E	鉄筋コンクリート	1997年	71.84	29				
戸上住宅 集会所	木造	1994年	48.80	31				
戸上住宅 5-2A	鉄筋コンクリート	1994年	71.84	31				
戸上住宅 5-2B	鉄筋コンクリート	1994年	71.84	31				
戸上住宅 5-2C	鉄筋コンクリート	1994年	71.84	31				
戸上住宅 5-2D	鉄筋コンクリート	1994年	71.84	31				
戸上住宅 5-2E	鉄筋コンクリート	1994年	71.84	31				
戸上住宅 5-A	鉄筋コンクリート	1994年	84.04	31				
戸上住宅 5-B	鉄筋コンクリート	1994年	84.04	31				
戸上住宅 5-C	鉄筋コンクリート	1994年	84.04	31				
戸上住宅 5-D	鉄筋コンクリート	1994年	84.04	31				
戸上住宅 5-E	鉄筋コンクリート	1994年	84.04	31				
大久保住宅 集会所	木造	1991年	48.50	35				
大久保住宅 3棟	鉄筋コンクリート	1991年	690.10	35				
大久保住宅 2棟	鉄筋コンクリート	1990年	734.00	36				
大久保住宅 1棟	鉄筋コンクリート	1989年	734.00	37				
都松住宅 集会所	鉄筋コンクリート	1987年	58.00	39				
都松住宅 I棟	鉄筋コンクリート	1987年	148.22	39				
都松住宅 J棟	鉄筋コンクリート	1987年	148.22	39				
都松住宅 H棟	鉄筋コンクリート	1987年	148.22	39				

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(m ²)	経過年数	～20	～30	～40	41～
都松住宅 D棟	鉄筋コンクリート	1986年	148.22	40				
都松住宅 E棟	鉄筋コンクリート	1986年	148.22	40				
都松住宅 F棟	鉄筋コンクリート	1986年	148.22	40				
都松住宅 G棟	鉄筋コンクリート	1986年	148.22	40				
都松住宅 A棟	鉄筋コンクリート	1985年	148.22	41				
都松住宅 B棟	鉄筋コンクリート	1985年	148.22	41				
都松住宅 C棟	鉄筋コンクリート	1985年	148.22	41				
原口住宅 15棟	コンクリートブロック	1979年	245.56	47				
原口住宅 16棟	コンクリートブロック	1979年	245.56	47				
原口住宅 11棟	コンクリートブロック	1979年	378.10	47				
原口住宅 17棟	コンクリートブロック	1979年	378.10	47				
原口住宅 10棟	コンクリートブロック	1978年	280.55	48				
原口住宅 14棟	コンクリートブロック	1978年	336.66	48				
原口住宅 12棟	コンクリートブロック	1978年	352.14	48				
原口住宅 13棟	コンクリートブロック	1978年	352.14	48				
原口住宅 集会所	鉄筋コンクリート	1978年	70.00	48				
原口住宅 9棟	コンクリートブロック	1977年	427.84	49				
原口住宅 5棟	コンクリートブロック	1976年	254.35	50				
原口住宅 6棟	コンクリートブロック	1976年	254.35	50				
原口住宅 7棟	コンクリートブロック	1976年	265.60	50				
原口住宅 8棟	コンクリートブロック	1976年	265.60	50				
原口住宅 3棟	コンクリートブロック	1975年	242.10	51				
原口住宅 4棟	コンクリートブロック	1975年	242.10	51				
原口住宅 1棟	コンクリートブロック	1975年	255.45	51				
原口住宅 2棟	コンクリートブロック	1975年	255.45	51				

② 現状や課題に関する基本認識

野津地域では、民間賃貸住宅が少ないため、行政による公営住宅等の整備が重要です。経過年数が30年以上経過している施設があり、長寿命化計画に基づき改修を検討・実施します。

③ 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

公営住宅等長寿命化計画に基づき、計画的な維持管理を行い、適正な管理戸数となるよう、更新・改修等の詳細な検討が必要です。また、更新が必要な住宅については計画的な建て替え整備を推進します。

(10)公園

① 対象施設

(ア)公園施設【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(m ²)	経過年数	～20	～30	～40	41～
臼杵石仏 石仏倉庫	木造	2015年	30.80	11				
大手門公園 休憩所(2工区)	鉄骨造	2011年	8.00	14				
大手門公園 トイレ休憩所(時計台横)	木造	2009年	29.00	17				
大手門公園 東屋	木造	2008年	68.48	18				
臼杵石仏公園 倉庫兼東屋	木造	2008年	18.05	18				
大手門公園 休憩所(2工区)	木造	2007年	21.00	18				
臼杵公園 大門櫓前トイレ	コンクリートブロック	2000年	10.00	26				
臼杵公園 ポンプ室	鉄筋コンクリート	2000年	16.00	26				
あすとびあ第1公園 トイレ	鉄筋コンクリート	1996年	10.00	30				
臼杵公園 ポンプ室	鉄筋コンクリート	1996年	17.00	30				
臼杵公園 ゆったりトイレ	木造	1996年	66.00	30				
市浜川添公園 トイレ	鉄筋コンクリート	1991年	4.30	35				
深江地区漁民広場 トイレ	鉄筋コンクリート	1991年	8.80	35				
仲よし子供公園 トイレ	鉄筋コンクリート	1987年	33.25	39				
臼杵公園 ポンプ室	鉄筋コンクリート	1981年	17.00	45				
臼杵公園 グラウンド横トイレ	鉄筋コンクリート	1981年	41.00	45				
臼杵公園 トイレ横東屋	鉄骨造	1965年	30.25	61				
臼杵公園 フランキ砲(国崩)横東屋	鉄骨造	1965年	30.25	61				

② 現状や課題に関する基本認識

公園施設は、長寿命化計画に沿って維持管理の取り組みを進めていますが、特に遊具については老朽化の進行や利用者ニーズに対する更新が課題となっています。

③ 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

公園及び公衆トイレは、利用状況等、現状に応じた個々の整備方針や用途変更を検討します。また、老朽化が進んでいる遊具などについては、適切な維持管理を推進します。

(11)供給処理施設

① 対象施設

(ア)供給処理施設【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(m ²)	経過年数	～20	～30	～40	41～
清掃センター(作業員待機所)	鉄筋コンクリート	2014年	9.45	12				
臼杵市し尿等前処理施設	鉄筋コンクリート	2005年	472.20	20				
浸出水処理施設	鉄骨造	2004年	179.00	21				
清掃センター粗大ゴミ破砕処理施設	鉄筋コンクリート	2004年	801.82	21				
不燃物最終処分場	鉄骨造	2004年	8,370.00	21				
清掃センター 収集員控室棟	鉄筋コンクリート	1989年	168.42	37				
清掃センター 車庫棟	鉄筋コンクリート	1989年	372.36	37				
清掃センター 管理棟	鉄筋コンクリート	1989年	2,686.72	37				
不燃物処理センター	鉄筋コンクリート	1983年	125.00	42				
旧臼杵市浄化センター	鉄筋コンクリート	1980年	2,173.08	46				

(イ)供給処理施設(広域)【施設一覧】※

建物名称	建築年	経過年数	～20	～30	～40	41～	今後考えられる方針
広域ごみ処理施設(新環境センター【仮】)							広域処理施設により、方針等は別途協議による
大分市福宗環境センター清掃工場	1997年	29					広域処理施設により、方針等は別途協議による
大分市佐野環境センター清掃工場	2003年	23					広域処理施設により、方針等は別途協議による
豊後大野市清掃センター	1998年	28					広域処理施設により、方針等は別途協議による
豊後大野市し尿処理施設	2003年	23					広域処理施設により、方針等は別途協議による
臼津葬祭場	1988年	38					広域施設により、方針等は別途協議による
豊後大野市三重葬祭場	2014年	12					広域施設により、方針等は別途協議による

※広域施設については、本市単独の保有施設ではない

② 現状や課題に関する基本認識

供給処理施設は、適正な処理体制を維持するため、効率的な施設管理等に取り組んでいく必要があります。

資源化の推進により搬入量が減少しているため、不燃物処理場は使用年数が延びています。

③ 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

令和9年10月に本格稼働を予定している「新環境センター(仮)」において、臼杵市ほか5市(大分市、由布市、豊後大野市、竹田市、津久見市)による一般廃棄物(家庭ごみ)の広域処理を行います。

これに伴い、臼杵市清掃センター・不燃物処理センター等の供給処理施設については、環境に配慮した安全で適正な処理を実施するための適正な管理・運営方法を検討します。

また、し尿の適正処理を維持するため、臼杵市し尿等前処理施設の長寿命化等を検討します。

(12) その他の施設

① 対象施設

(ア) その他の施設【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(m ²)	経過年数	～20	～30	～40	41～
佐志生尾本地区大浜駐車場トイレ	鉄筋コンクリート	2016年	19.38	10				
二王座ポケットパーク トイレ	木造	2006年	13.00	20				
蛤小路ポケットパーク トイレ	木造	2006年	21.00	20				
佐志生浜公園 シャワー室	鉄筋コンクリート	2004年	91.00	22				
佐志生浜公園 トイレ	鉄筋コンクリート	2003年	17.89	22				
黒島公園 トイレ	コンクリートブロック	2000年	14.30	26				
JR熊崎駅 トイレ	木造	1996年	6.60	29				
水地観光トイレ	木造	1996年	6.90	30				
吉四六ポケットパークトイレ	鉄筋コンクリート	1996年	39.34	30				
豊の国さわやかトイレ 石仏公衆トイレ	鉄筋コンクリート	1996年	44.25	30				
JR下ノ江駅 トイレ	無筋コンクリート	1995年	12.00	30				
塩田ゲートボール場 トイレ	軽量鉄骨造	1995年	3.00	31				
塩田ゲートボール場 プレハブ	軽量鉄骨造	1995年	19.87	31				
JR上臼杵駅 トイレ	木造	1994年	15.30	32				
JR佐志生駅 トイレ	コンクリートブロック	1993年	15.40	33				
JR佐志生駅舎	コンクリートブロック	1992年	20.50	34				
旧臼杵市立下南保育所	木造	1990年	333.00	36				
龍原寺公衆トイレ	木造	1987年	3.00	39				
市営豊屋町駐車場 公衆トイレ	コンクリートブロック	1987年	4.30	39				
旧田野幼稚園	鉄骨造	1979年	180.00	47				
旧下ノ江連絡事務所	鉄骨造	1976年	108.00	49				
旧野津幼稚園(野津中央公民館裏)	鉄骨造	1974年	280.00	51				
工芸館倉庫(旧給食センター)	木造	1970年	60.00	56				
旧給食センター(工芸館)	鉄骨造	1970年	261.00	56				
JR熊崎駅 駅舎	木造	1920年	94.00	105				
JR上臼杵駅 駅舎	木造	1917年	129.00	108				
JR下ノ江駅 駅舎	木造	1915年	96.00	110				
市浜遊園地内トイレ(市浜クラブ)	コンクリートブロック	不明	9.53	-				

② 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

その他の施設は、保全管理意識を高め、適正な維持管理を行うことにより、長寿命化とライフサイクルコストの削減を図ります。

公衆トイレは、利用状況を勘案し利用者に適切な利用方法を周知し、施設の損傷を最小限に抑え、修繕などの費用の発生を抑制します。

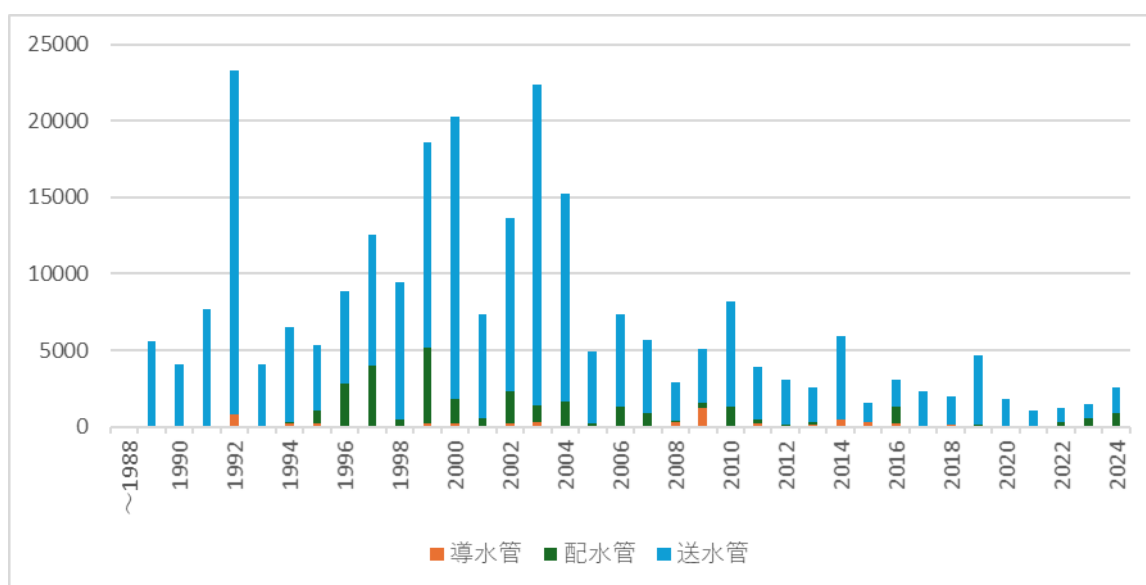
(13) 上水道施設

① 現状や課題に関する基本認識

(ア) 上水道施設【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(m ²)	経過年数	~20	~30	~40	41~
松ヶ岳飲用水供給施浄水場 管理棟	軽量鉄骨造	2014年	68.00	11				
野田浄水場管理棟 他(臼杵市水源地)	鉄筋コンクリート	2005年	64.00	21				
蕨野浄水場(管理棟含む)	鉄筋コンクリート	1997年	790.00	29				
竹下浄水場	鉄筋コンクリート	1979年	253.00	47				
井村浄水場管理棟(井村水源地)	鉄筋コンクリート	1960年	340.00	66				

(イ) 管路



(注)1988年以前の整備年度は不明である。

② 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

水道施設の更新計画のもと水道施設と老朽管の更新及び耐震化を行っていく必要があります。また、施設・設備の合理化も検討します。

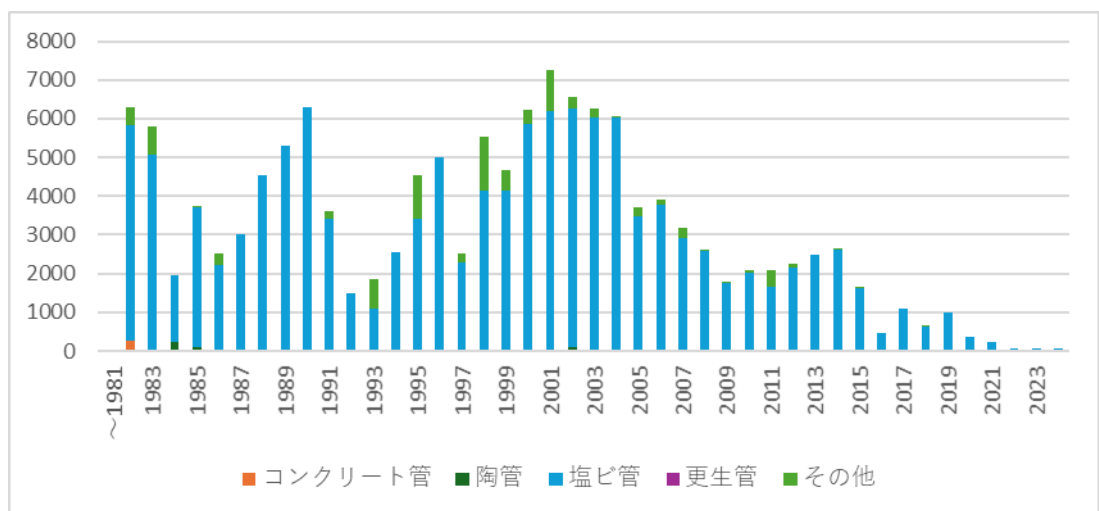
(14) 下水道施設

① 現状や課題に関する基本認識

(ア) 下水道施設【施設一覧】

建物名称	建物構造	建築年	延床面積(m ²)	経過年数	～20	～30	～40	41～
狭間・新地ゲートポンプ場	鉄筋コンクリート	2007年	130.00	18				
農業集落排水深田地区処理場	鉄筋コンクリート	2007年	344.00	19				
泊ヶ内漁業集落排水処理施設	鉄筋コンクリート	2000年	127.00	25				
農業集落排水王子処理場	鉄筋コンクリート	1997年	111.00	28				
市浜汚水中継ポンプ場	鉄筋コンクリート	1996年	639.00	29				
野津浄化センター	鉄筋コンクリート	1994年	453.00	32				
白杵終末処理場 汚泥処理棟	鉄筋コンクリート	1988年	499.74	37				
土橋雨水ポンプ場	鉄筋コンクリート	1983年	100.00	43				
白杵終末処理場 汚泥処理施設	鉄筋コンクリート	1982年	3,501.00	43				
白杵終末処理場 管理棟	鉄筋コンクリート	1982年	1,607.27	43				
白杵終末処理場 送風機室	鉄筋コンクリート	1981年	236.95	44				

(イ) 管路



(注)1981年以前の整備年度は不明である。

② 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

老朽化が進んでいる下水道施設と下水道管渠について、ストックマネジメント計画に基づき、更新及び耐震化を行っていく必要があります。また、下水道施設の統合等を検討します。

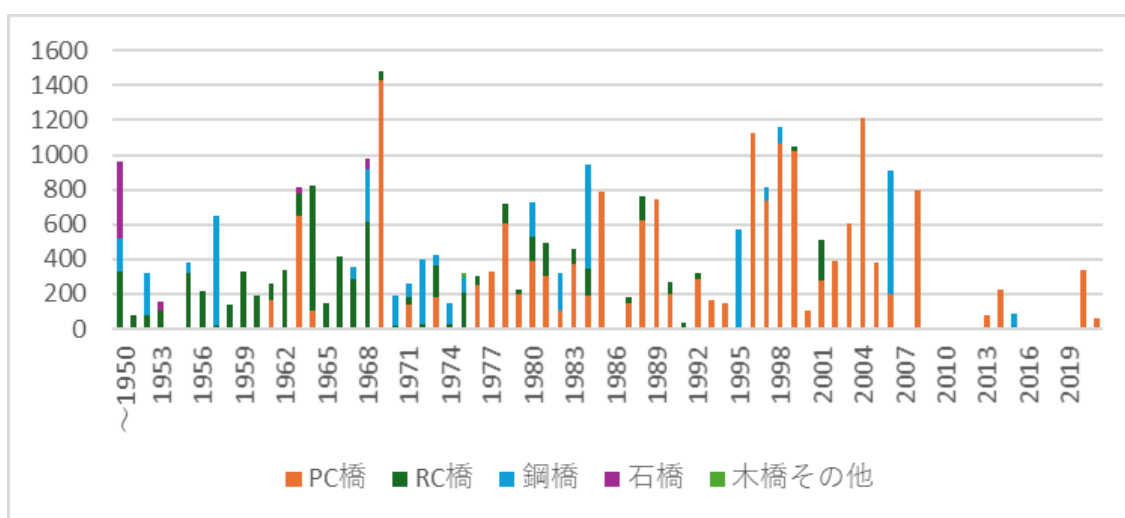
(15)道路及び橋りょう

① 現状や課題に関する基本認識

(ア)道路

市町村道 幅員	延長
路面幅員 4.5m 以上	309.7km
路面幅員 4.5m 未満 2.5m 以上	276.4km
路面幅員 2.5m 未満 1.5m 以上	28.5km

(イ)橋りょう



② 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

老朽化した道路施設は、事後保全型による維持管理から予防保全型の維持管理に転換することで、持続的で安全性を備えた道路の構築を推進します。供用開始後、50年を経過した構造物が多くあり、修繕等を計画的に進めていきます。

(16)漁港

① 現状や課題に関する基本認識

(ア)漁港【施設一覧】

漁港名称	種類	指定年	防波堤(m)	護岸(m)	泊地(m ²)	施設用地面積(m ²)	水域面積(m ²)
上浦(白杵)	第1種	1,965	473	984	11,200	11,313	556,000
佐志生	第2種	1,953	280	900	26,720	13,630	281,833
深江	第1種	1,953	140	848	5,000	0	81,200
津久見島	第1種	1,952	78	170	810	0	71,280
鳴川	第1種	1,953	83	720	1,100	0	120,260
東深江	第1種	1,965	728	1,673	23,500	11,240	540,000
泊ヶ内	第1種	1,965	211	210	19,300	6,861	229,000
坪江	第1種	1,952	84	204	4,255	4,267	0
中津浦	第1種	1,953	187	1,230	8,000	899	1,530,000
清水	第1種	1,953	82	101	1,000	533	95,440

② 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

海岸に面し、多くの漁港を有していることから、長寿命化計画を検討・策定するとともに、優先順位をつけながら維持補修を行います。

巻末資料

(1) 公共施設等の更新費用の試算の前提

当該試算にあたっては、総務省が無償提供している更新費用試算ソフト(一般財団法人地域総合整備財団<ふるさと財団>が開発)を使用し、試算の前提は以下のとおりとします。⁴

なお、実際の試算単価については、更新費用試算ソフトに国土交通省が公表している建設工事デフレーター基準を適用し、算出しています。

巻末図表 1 更新費用試算の前提

項目	試算上の前提
全般的事項	<p>(1) 対象とする公共施設は、スポーツ・レクリエーション施設、学校教育施設、市民文化系施設、行政系施設等の普通会計に係る建築物とします。</p> <p>(2) 対象とするインフラ資産は、道路、橋りょう、上水道及び下水道とし、上水道及び下水道については、管に加えて上水処理施設、下水処理施設等の建築物を含めます。</p> <p>(3) 公共施設等の今後の在り方については、詳細等は別途、協議・検討する必要がありますが、現在保有する公共施設、上水道管等を同じ面積、延長等で更新すると仮定して試算することとします。なお、補助制度や落札率等は予想が困難であるので考慮しません。</p>
公共施設	<p>(1) 基本的な考え方 公共施設等の大分類ごとに、建替え、大規模改修について、更新年数経過後に現在と同じ延べ床面積等で更新すると仮定し、延べ床面積等の数量に更新単価を乗じることにより、更新費用を試算します。 大規模改修、建替えの種類ごとに、調査年度から40年度分の更新費用を試算します。</p> <p>(2) 数量の考え方 公共施設については、過去の年度ごとの延べ床面積を用いる。1950年以前の施設については、合計した延べ床面積を用います。</p> <p>(3) 耐用年数・更新の考え方 公共施設等の建築物については、以下の項目を推計条件として設定しています。</p> <p>① 建替え</p> <p>(ア) 更新年数…60年</p> <p>(イ) 建替え期間…3年</p> <p>(ウ) 積み残し処理を割り当てる年数…10年</p> <p>② 大規模改修</p> <p>(ア) 実施年数…30年</p> <p>(イ) 修繕期間…2年</p> <p>(ウ) 積み残し処理を割り当てる年数…10年</p>

項目	試算上の前提															
	<p>(4) 更新単価の考え方</p> <p>大分類別に指定の建設単価にて試算します。なお、大規模改修の単価は、建替えの約 6 割で想定するのが一般的とされているため、この想定単価を設定します。</p> <table border="1" data-bbox="397 456 1230 752"> <thead> <tr> <th>大分類</th> <th>更新(建替え)単価</th> <th>大規模改修単価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民文化系、社会教育系、行政系等施設</td> <td>40 万円/㎡</td> <td>25 万円/㎡</td> </tr> <tr> <td>スポーツ・レクリエーション系等施設</td> <td>36 万円/㎡</td> <td>20 万円/㎡</td> </tr> <tr> <td>学校教育系、子育て支援施設等</td> <td>33 万円/㎡</td> <td>17 万円/㎡</td> </tr> <tr> <td>公営住宅</td> <td>28 万円/㎡</td> <td>17 万円/㎡</td> </tr> </tbody> </table>	大分類	更新(建替え)単価	大規模改修単価	市民文化系、社会教育系、行政系等施設	40 万円/㎡	25 万円/㎡	スポーツ・レクリエーション系等施設	36 万円/㎡	20 万円/㎡	学校教育系、子育て支援施設等	33 万円/㎡	17 万円/㎡	公営住宅	28 万円/㎡	17 万円/㎡
大分類	更新(建替え)単価	大規模改修単価														
市民文化系、社会教育系、行政系等施設	40 万円/㎡	25 万円/㎡														
スポーツ・レクリエーション系等施設	36 万円/㎡	20 万円/㎡														
学校教育系、子育て支援施設等	33 万円/㎡	17 万円/㎡														
公営住宅	28 万円/㎡	17 万円/㎡														
道路	<p>(1) 基本的な考え方</p> <p>道路は、整備面積を更新年数で割った面積を 1 年間の舗装部分の更新量と仮定し、更新単価を乗じることにより更新費用を試算します。</p> <p>(2) 数量の考え方</p> <p>道路については、路線ごとに一度に整備するものではなく、区間ごとに整備していくため、年度別に把握することは困難です。そのため現在の道路の総面積を、舗装部分の更新(打換え)の耐用年数で割ったものを、1 年間の舗装部分の更新量と仮定します。</p> <p>(3) 耐用年数・更新の考え方</p> <p>総面積に対する更新年数、分類別面積に対する更新年数を設定し試算します。更新年数は 15 年とします。</p> <p>(4) 更新単価の考え方</p> <p>総面積に対する更新単価、分類別面積に対するそれぞれの更新単価を設定し試算します。</p> <table border="1" data-bbox="373 1375 1230 1525"> <thead> <tr> <th>道路分類</th> <th>更新単価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般道路</td> <td>4,700 円/㎡</td> </tr> <tr> <td>自転車歩行者道</td> <td>2,700 円/㎡</td> </tr> </tbody> </table>	道路分類	更新単価	一般道路	4,700 円/㎡	自転車歩行者道	2,700 円/㎡									
道路分類	更新単価															
一般道路	4,700 円/㎡															
自転車歩行者道	2,700 円/㎡															
橋りょう	<p>(1) 基本的な考え方</p> <p>橋りょうは、面積に更新単価を乗じることにより、更新費用を試算します。調査年度から 40 年度分の更新費用を試算します。</p> <p>① 構造別年度別面積による算定方法</p> <p>更新年度経過後に現在と同じ延べ床面積等で更新すると仮定し、以下の構造別年度別面積に対し、それぞれの更新費用を乗じることにより更新費用を試算します。</p>															

項目	試算上の前提												
	<p>(ア) PC 橋 (イ) RC 橋 (ウ) 鋼橋 (エ) 石橋 (オ) その他</p> <p>(2) 数量の考え方 橋りょうについては、現在の橋りょうの総面積を把握し、可能であれば、過去の構造別の橋りょうの年度ごとの面積により算定します。</p> <p>(3) 耐用年数・更新の考え方 橋りょうについては、以下の項目を推計条件として設定しています。</p> <p>① 更新年数・・・60 年 ② 積み残し処理を割り当てる年数・・・5 年</p> <p>(4) 更新単価の考え方 総面積に対する更新単価、構造別面積に対するそれぞれの更新単価を設定し試算します。</p> <table border="1" data-bbox="411 983 1286 1279"> <thead> <tr> <th data-bbox="411 983 847 1032">構造</th> <th data-bbox="847 983 1286 1032">更新単価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="411 1032 847 1081">PC 橋</td> <td data-bbox="847 1032 1286 1081">425 千円/m²</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 1081 847 1131">RC 橋</td> <td data-bbox="847 1081 1286 1131">425 千円/m²</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 1131 847 1180">鋼橋</td> <td data-bbox="847 1131 1286 1180">500 千円/m²</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 1180 847 1229">石橋</td> <td data-bbox="847 1180 1286 1229">425 千円/m²</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 1229 847 1279">その他</td> <td data-bbox="847 1229 1286 1279">425 千円/m²</td> </tr> </tbody> </table>	構造	更新単価	PC 橋	425 千円/m ²	RC 橋	425 千円/m ²	鋼橋	500 千円/m ²	石橋	425 千円/m ²	その他	425 千円/m ²
構造	更新単価												
PC 橋	425 千円/m ²												
RC 橋	425 千円/m ²												
鋼橋	500 千円/m ²												
石橋	425 千円/m ²												
その他	425 千円/m ²												
上水道	<p>(1) 基本的な考え方 上水道については、延長長さに更新単価を乗じることにより、更新費用を試算します。調査年度から 40 年度分の更新費用を試算します。</p> <p>(2) 数量の考え方 上水道管については、現在の総延長及び管径別の延長を把握し、これにより算定し、可能であれば、さらに過去の管径別の年度ごとの延長により算定します。</p> <p>(3) 耐用年数・更新の考え方 上水道については、以下の項目を推計条件として設定しています。</p> <p>① 更新年数・・・40 年 ② 積み残し処理を割り当てる年数・・・5 年</p> <p>(4) 更新単価の考え方 管径別に対するそれぞれの更新単価を設定し試算します。</p>												

項目	試算上の前提			
① 導水管・送水管				
管径		更新単価		
300mm 未満		100 千円/m		
300～500mm		114 千円/m		
500～1,000mm 未満		161 千円/m		
1,000～1,500mm 未満		345 千円/m		
1,500～2,000mm 未満		742 千円/m		
2,000mm 以上		923 千円/m		
② 配水管				
管径	更新単価	管径	更新単価	
150mm 以下	97 千円/m	800mm 以下	178 千円/m	
200mm 以下	100 千円/m	900mm 以下	199 千円/m	
250mm 以下	103 千円/m	1,000mm 以下	224 千円/m	
300mm 以下	106 千円/m	1,100mm 以下	250 千円/m	
350mm 以下	111 千円/m	1,200mm 以下	279 千円/m	
400mm 以下	116 千円/m	1,350mm 以下	628 千円/m	
450mm 以下	121 千円/m	1,500mm 以下	678 千円/m	
550mm 以下	128 千円/m	1,650mm 以下	738 千円/m	
600mm 以下	142 千円/m	1,800mm 以下	810 千円/m	
700mm 以下	158 千円/m	2,000mm 以上	923 千円/m	

項目	試算上の前提																										
下水道	<p>(1) 基本的な考え方 下水道については、延長・長さ更新単価を乗じることにより、更新費用を試算します。調査年度から 40 年度分の更新費用を試算します。</p> <p>(2) 数量の考え方 下水道管については、現在の総延長を把握し、可能であれば、管種別又は管径別の延長、さらに過去の管種別又は管径別の年度ごとの延長により算定します。</p> <p>(3) 耐用年数・更新の考え方 下水道については、以下の項目を推計条件として設定しています。</p> <p>① 更新年数・・・50 年</p> <p>② 積み残し処理を割り当てる年数・・・5 年</p> <p>(4) 更新単価の考え方 総延長に対する更新単価、管種別に対する単価、管径別に対する単価を設定し試算します。</p> <p>① 管種別</p> <table border="1" data-bbox="411 1032 1230 1328"> <thead> <tr> <th>管種</th> <th>更新単価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート管</td> <td>124 千円/m</td> </tr> <tr> <td>陶管</td> <td>124 千円/m</td> </tr> <tr> <td>塩ビ管</td> <td>124 千円/m</td> </tr> <tr> <td>更生管</td> <td>134 千円/m</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>124 千円/m</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 管径別</p> <table border="1" data-bbox="411 1424 1230 1767"> <thead> <tr> <th>管径</th> <th>更新単価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>250mm 以下</td> <td>61 千円/m</td> </tr> <tr> <td>251～500mm</td> <td>116 千円/m</td> </tr> <tr> <td>501～1,000mm</td> <td>295 千円/m</td> </tr> <tr> <td>1,001～2,000mm</td> <td>749 千円/m</td> </tr> <tr> <td>2,001～3,000mm</td> <td>1,690 千円/m</td> </tr> <tr> <td>3,001mm 以上</td> <td>2,347 千円/m</td> </tr> </tbody> </table>	管種	更新単価	コンクリート管	124 千円/m	陶管	124 千円/m	塩ビ管	124 千円/m	更生管	134 千円/m	その他	124 千円/m	管径	更新単価	250mm 以下	61 千円/m	251～500mm	116 千円/m	501～1,000mm	295 千円/m	1,001～2,000mm	749 千円/m	2,001～3,000mm	1,690 千円/m	3,001mm 以上	2,347 千円/m
管種	更新単価																										
コンクリート管	124 千円/m																										
陶管	124 千円/m																										
塩ビ管	124 千円/m																										
更生管	134 千円/m																										
その他	124 千円/m																										
管径	更新単価																										
250mm 以下	61 千円/m																										
251～500mm	116 千円/m																										
501～1,000mm	295 千円/m																										
1,001～2,000mm	749 千円/m																										
2,001～3,000mm	1,690 千円/m																										
3,001mm 以上	2,347 千円/m																										

(出所)公共施設等更新費用試算ソフト 仕様書(平成 28 年 1 月)をもとに作成

(2)長寿命化における公共施設等の更新費用の試算の前提

長寿命化の試算にあたっては、次のとおりとします。

項目	試算上の前提																																
計算方法	<p>延べ床面積×更新単価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途分類</th> <th>建替に必要な単価(円/㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民文化系施設</td> <td>400,000</td> </tr> <tr> <td>社会教育系施設</td> <td>400,000</td> </tr> <tr> <td>スポーツ・レクリエーション系施設</td> <td>360,000</td> </tr> <tr> <td>産業系施設</td> <td>400,000</td> </tr> <tr> <td>学校教育系施設</td> <td>330,000</td> </tr> <tr> <td>子育て支援施設</td> <td>330,000</td> </tr> <tr> <td>保健・福祉施設</td> <td>360,000</td> </tr> <tr> <td>医療施設</td> <td>400,000</td> </tr> <tr> <td>行政系施設</td> <td>400,000</td> </tr> <tr> <td>公営住宅</td> <td>280,000</td> </tr> <tr> <td>公園</td> <td>330,000</td> </tr> <tr> <td>供給処理施設</td> <td>360,000</td> </tr> <tr> <td>その他の施設</td> <td>360,000</td> </tr> <tr> <td>上水道施設</td> <td>360,000</td> </tr> <tr> <td>下水道施設</td> <td>360,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(出所)公共施設等更新費用試算ソフト 仕様書(平成 28 年 1 月)をもとに作成</p>	用途分類	建替に必要な単価(円/㎡)	市民文化系施設	400,000	社会教育系施設	400,000	スポーツ・レクリエーション系施設	360,000	産業系施設	400,000	学校教育系施設	330,000	子育て支援施設	330,000	保健・福祉施設	360,000	医療施設	400,000	行政系施設	400,000	公営住宅	280,000	公園	330,000	供給処理施設	360,000	その他の施設	360,000	上水道施設	360,000	下水道施設	360,000
用途分類	建替に必要な単価(円/㎡)																																
市民文化系施設	400,000																																
社会教育系施設	400,000																																
スポーツ・レクリエーション系施設	360,000																																
産業系施設	400,000																																
学校教育系施設	330,000																																
子育て支援施設	330,000																																
保健・福祉施設	360,000																																
医療施設	400,000																																
行政系施設	400,000																																
公営住宅	280,000																																
公園	330,000																																
供給処理施設	360,000																																
その他の施設	360,000																																
上水道施設	360,000																																
下水道施設	360,000																																
大規模改修単価	建替えの 2.5 割と想定し、この想定単価を設定します。																																
長寿命化改修単価	建替えの 6 割と想定し、この想定単価を設定します。																																
耐用年数	鉄筋コンクリート造、鉄骨造は長寿命化を図り 80 年とし、木造、軽量鉄骨造は 50 年とします。※ただし、旧耐震基準のものについては 50 年																																
大規模改修	建設後 20 年、60 年で行うものとします。ただし、建替え、長寿命化改修の前後 10 年間に重なる場合は実施しません。工事期間は 1 年とします。																																
長寿命化改修	建築後 40 年で行うものとします。改修等の実施年を過ぎたものは、今後 10 年以内に行うものとして計算します。工事期間は 2 年とします。																																

※大規模改修単価以下については「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書(平成 29 年 3 月)」を参照

(3) 臼杵市中期財政計画の試算の前提

当該試算の前提は、以下のとおりとします。

1 試算にあたっての前提条件 (令和7年度～令和11年度)

(歳入)

項目	前提となる条件
地方税	個人所得割については、人口推計、生産人口及び老年人口の推移を考慮し算出（各年減少傾向） 固定資産税については3年に一度の評価替えを考慮し試算。他の税目については徴収率等を基に試算しています。
地方譲与税等	令和7年度決算見込額（県推計）を基に試算しています。
地方交付税	令和7年度算定額を基に、基準財政収入額においては、地方税の見込を加味し試算しています。基準財政需要額における、公債費については、既発債および今後借入予定額により試算しています。公債費を除く経費については、大分県提供の参考推移や国勢調査による人口減等を反映し、試算しています。
国県支出金	投資的経費及び扶助費に係る分については、各経費の歳出見込の財源と連動させて試算しています。その他については令和6年度決算額を基に試算しています。
市債	建設事業債については、投資的経費の歳出見込に基づいて試算しています。臨時財政対策債については、令和7年度から発行額が0となりました。
その他歳入	基金繰入金については、事業の実施状況等により試算しています。各年度における収支の不足額は財政調整基金で補うように試算しています。（令和11年度末残高見込：3,078,839千円）

(歳出)

項目	前提となる条件
義務的経費	
人件費	令和7年度決算見込額（人勸反映）を基に、退職者数の推移を見込み試算しています。職員数は、令和7年4月1日時点を基準に試算しています。また、定年退職年齢の段階的な引き上げの影響を見込んで試算しています。
扶助費	令和6年度決算をベースに、人口推計、利用者予測を加味して試算しています。
公債費	既発債分については令和6年度末残高に基づき算出。新規発行分については、公共施設整備5カ年計画に基づき、各起債における現行の償還期限及び利率(2.6%)に基づき試算しています。
投資的経費	公共施設整備5カ年計画に基づき試算しています。
その他歳出	
物件費	令和4年度～令和6年度決算額を基に、新規事業等を加味して試算しています。
補助費等	令和4年度～令和6年度決算額を基に、新規事業等を加味して試算しています。
繰出金	各特別会計の事業計画、償還計画に基づき試算しています。
その他	令和6年度決算額をベースに試算しています。

(出所)臼杵市中期財政計画

臼杵市公共施設等総合管理計画
(2016(平成 28)年度～2035(令和 17)年度)

2026(令和 8)年 3 月発行
臼杵市財務経営課
〒875-8501 大分県臼杵市大字臼杵 72 番 1
電話 (0972)63-1111